

平成 21 年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

平成20年度の実績

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し、報告するものです。

南部町教育委員会

◆まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年 3月

南部町教育委員会

点検評価アドバイザー(学識経験者)による意見

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書を、南部町の教育方針、学校教育指導の方針と重点および社会教育指導の方針と重点にかんがみ、拝見したので、所見の一端を述べます。

はじめに、特記すべき事項として

1. 「特色ある学校づくり」として、町当局が厳しき財政事情にもかかわらず、町独自の支援を実施していること、教育にかける並々ならぬ心意気を感じる。
2. 度重なる教育改革や教育思潮から、「開かれた学校…」とか「特色ある学校づくり…」等への理解を一層深めることや変遷する学習指導要領から「不易と流行」を読みとり、「不易」なる事項への重点化と流行とのバランスを図ることが一層求められる。
3. 「子育ては社会総がかり」への啓発活動と「生涯学習社会」の具現化に一層努める。

具体的には、

1. 事業のマンネリ化防止に心がけ、事業のスリム化と重点化の視点、スクラップ・アンド・ビルドの視点を大事にする。
2. 教育委員会内における事業の狙い・目的の同様なものについて、統合化すべきかいないかの検討が必要。町当局と教育委員会との事業についても、同様。
3. 事業の概要及び実績について、昨年度との比較及び経年変化にも触れると評価しやすい。なお、数値化可能なもの、文章表現によるものとその併用があつてよい。
4. 事業の点検評価の根拠になった事項・内容について、より具体的に言及されたらわかりやすい。なお、評価基準の精度を高める工夫が一層必要と考える。
5. 総合評価欄に、今後の方向性を含んでいることは望ましい。
6. 参加者の増減・動向の背景を把握し、開催時期及び運営等に活かす。
7. 町民のニーズ・声は未だ低調であるが、「町民の声」の収集に努め、それを事業の改廃及び新規事業構築へ活かす。
8. 見直しが厳正に行われた結果、C判定が多いが、これは一層の改善が求められるということである。

9. 「開かれた学校、開かれた教育委員会」など「開かれた…」は、一方で「説明責任」と言われ、教育成果について論じられることが期待されている。これまでは、この点が欠落されてきたことへの対応である。たとえば、国や県などで学習状況調査を実施しているが、それらの活用なども一考に値する。本町の教育成果については、きわめて順調に推移していることは高く評価される。
10. 「特色ある学校経営」について、「学校教育の最大の責務は何か？」を常に変遷する学習指導要領から、不易と流行を読みとることで、一目瞭然。不易なる「基礎学力の向上」を最重点に、流行とのバランスを取る。それに見合う時間や経費を手当てしているかの視点を大事にする。ややもすれば、流行に目が奪われバランスを欠く傾向が無きにしても非ず、注意が必要である。

終わりに

1. 学校教育においては、各種の資料をもとに落ち込みへ、即、手を打ち、回復を目指すこと。この繰り返しこそ日々の教育活動である。低学力対策は必須事項である。
2. 学校教育と社会教育(家庭教育・企業内教育を含む)を連携することで、一層教育成果を高めることが可能であり、町内がいよいよ活気づく。さらなる発展が期待される。

南部町教育委員会の事務の点検評価アドバイザー

平 山 幹 雄

工 藤 光 行

目 次

○点検及び評価の概要 P. 1
○点検及び評価のイメージ図 P. 2
○南部町教育方針 P. 3～9
1. 学校教育指導の方針と重点 P. 3～6
2. 社会教育指導の方針と重点 P. 7
3. 文化財保護行政の方針と重点 P. 8
4. 学校給食重点目標 P. 9
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表 P. 10～12
○事務事業毎個別評価の観点 P. 13
○事務事業毎個別評価表 P. 14～35
○平成20年度教育委員会活動の状況 P. 36～40
1. 教育委員名簿 P. 36
2. 教育委員会会議の状況 P. 37～39
3. その他の活動 P. 40
○教育委員会事務局の活動の状況 P. 41～44
1. 教育委員会の事務局の組織の状況 P. 41
2. 教育委員会の事務局の活動の状況 P. 41～42
3. 教育施設の状況 P. 43
4. 教育関係予算の状況 P. 44
○南部町立小中学校児童生徒の状況 P. 45～53
1. 児童生徒の学力(全国学力調査) P. 45～53
2. 児童生徒の生活の状況(全国学習調査) P. 46～50
4. 町立小中学校の「特色ある学校経営」事業の実績 P. 51～53

◎ 点検及び評価の概要

(1)経 緯 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出することが義務づけられた。また、同法の規定により、点検及び評価結果は公表することとされました。

※参考 (教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)
第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

(2)点検評価の対象 南部町教育方針にある教育施策の重点に基づいて行う事業。

(3)点検評価の方法 次の手順で点検及び評価を行った。

〈内部評価〉

①事業担当課による点検及び評価

・各事業担当課が評価シートを作成し、実施状況についてをまとめ各課で評価した。

②教育委員会による点検及び評価

・各事業担当課がまとめ各課で評価したものについて、事業の妥当性について評価。

〈学識経験者の知見の活用〉

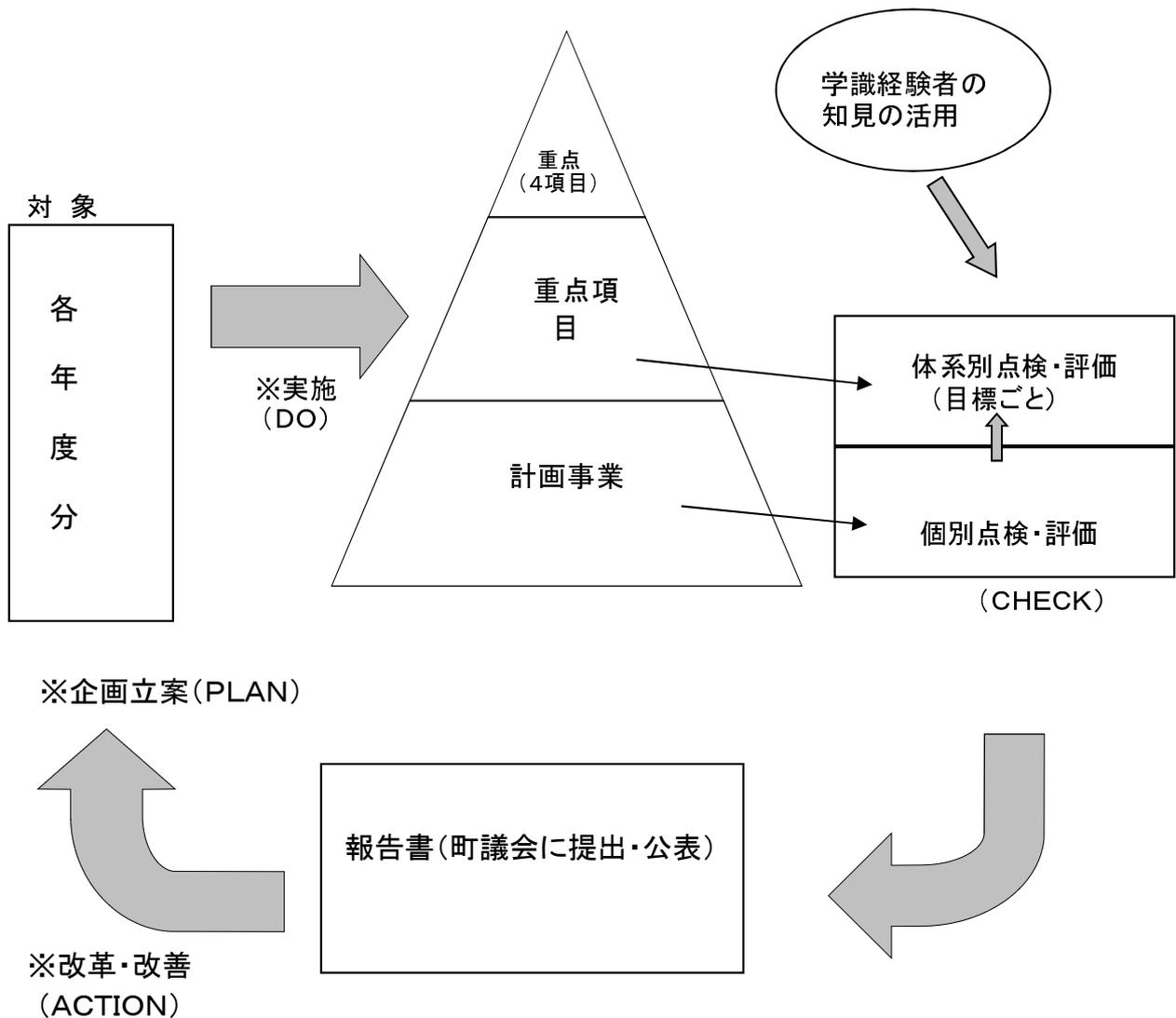
内部評価について、教育に関し学識経験を有する者から意見を聴取した。

(4)平成21年度点検評価アドバイザー

氏 名	団体・役職
平 山 幹 雄 氏	元青森県教育委員会 西北教育事務所 所長 元八戸市立第一中学校 校長 八戸市教育委員会 委員
工 藤 光 行 氏	元南部町教育委員会 参事 社会教育課長 南部町歴史研究会 事務局 青森県剣道連盟 理事

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、町教育委員会が行っている仕事について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、次の仕事の取り組みに生かしていくものです。



事務事業の企画立案(PLAN)、実施(DO)、点検・評価(CHECK)、改革・改善(ACTION)を継続して行うことで、より効率的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

○ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

○ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、積極的に郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の生活に目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

○ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎・基本的学力の定着や考える力を身につけさせ、夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習体制の確立を区るとともに、学社融合事業と家庭教育の充実に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。
4. 文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに、伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

◎学校教育指導の方針と重点

1. 方針

知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという原点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

- ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化
- イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫
- ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫
- エ 主体的・体験的な学習のための環境作りの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

- ア 道徳的実践力を高める指導の工夫
- イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進
- ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

- ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫
- イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫
- ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫
- エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体をはぐくむ教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力を育て、運動の楽しさや喜びを味わわせる指導の充実
- イ 運動の習慣化を図る指導の充実
- ウ 体力の向上を図る指導の充実
- エ 保健指導の充実
- オ 安全指導の充実
- カ 食に関する指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) 進路指導の充実

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、計画的、組織的、継続的な指導に努める。

- ア 進路指導体制の充実
- イ 学級活動・ホームルーム活動における進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、主体的に生活や学習上の困難を改善又は克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の策定と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習の推進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間のかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実によるコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣を持つ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 地域と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

- ア 調和と統一のある教育課程の編成
- イ 実態に即した指導計画の整備
- ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

◎社会教育指導の方針と重点

1. 方針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 社会教育推進体制の充実

- ア ライフステージに応じた社会教育の基盤整備・充実に努める。
- イ 社会教育、学校教育、家庭教育の融合による教育活動の推進に努める。
- ウ 地域教育力の向上に資する人材の育成に努める。
- エ 学習情報の収集・提供及び学習相談の体制の充実に努める。

(2) 多様な学習機会の拡充

- ア 家庭教育の支援と学習活動の推進に努める。
- イ 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。
- ウ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。
- エ 子どもの読書活動の充実に努める。

(3) 社会教育施設等の機能の充実

- ア 社会教育施設の整備充実及び活用の促進に努める。
- イ 多様な学習要求に対応する公民館活動の推進に努める。
- ウ 社会教育団体や学習グループ、サークル等の活動支援に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

- ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。
- イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。
- ウ スポーツ・レクリエーション 活動の普及促進に努める。
- エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

◎文化財保護行政の方針と重点

1. 方針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

◎学校給食重点目標

- (1) より安全、安心のおいしい給食を目指します。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかります。
- (3) 手作りの料理を心がけます。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。

H20年度 教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧

シートNo. 1

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
1	スクールサポーター配置事業	P. 14	学務課
2	心の教室相談員配置事業	〃	〃
3	スクールカウンセラー事業	〃	〃
4	小学校国内交流事業	P. 15	〃
5	就学指導委員会委託事業	〃	〃
6	特別支援学級設置事業	〃	〃
7	食育に関する事業	〃	〃
8	学校生活安全事業	P. 16	〃
9	奨学金貸付事業	〃	〃
10	教職員研修事業(ふるさと研修)	〃	〃
11	就学援助事業	〃	〃
12	特別支援教育就学奨励費事業	P. 17	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	〃	〃
14	相談窓口設置事業	〃	〃
15	教職員研修事業(国県財団主催)	〃	〃
16	学校・家庭・地域の連携による生徒指導	〃	〃
17	学校の芸術文化活動事業	P. 18	〃
18	学校施設管理事業	〃	〃
19	中学生海外派遣事業	〃	〃
20	外国語指導助手配置事業	〃	〃
21	教育課程(名川幼稚園)	P. 19	幼稚園
22	教育課程(南部幼稚園)	〃	〃
23	発表会(おゆうぎ会)(名川幼稚園)	〃	〃
24	発表会(南部幼稚園)	P. 20	〃
25	お泊り保育(名川幼稚園)	〃	〃
26	お泊り保育(南部幼稚園)	〃	〃

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
27	運動会(名川幼稚園)	P. 20	幼稚園
28	運動会(南部幼稚園)	P. 21	〃
29	体験活動(動植物の飼育・栽培)(名川幼稚園)	〃	〃
30	家庭教育セミナー	P. 22	社会教育課
31	ふるさと学習キャンプ	〃	〃
32	生活体験学習推進事業(通学学習)	〃	〃
33	女性学級	〃	〃
34	学校と地域ネット推進事業	P. 23	〃
35	成人式	〃	〃
36	文化賞・スポーツ賞表彰	〃	〃
37	南部ふるさと塾	〃	〃
38	子育て・親育ち講座(地域における家庭教育支援基盤形成事業)	〃	〃
39	家庭教育支援チーム(地域における家庭教育支援基盤形成事業)	P. 24	〃
40	家庭教育推進協議会(地域における家庭教育支援基盤形成事業)	〃	〃
41	学校支援地域本部事業(国委託事業)	〃	〃
42	アロマフィットネス講座	P. 25	公民館
43	着付け教室	〃	〃
44	おもしろ体験教室	〃	〃
45	英会話教室	〃	〃
46	書道教室	〃	〃
47	I. T講習	P. 26	〃
48	読み聞かせ教室	〃	〃
49	趣味の教室	〃	〃
50	町民運動会	P. 27	体育館
51	うぐいすマラソン大会	〃	〃
52	南部町縦断駅伝競走大会	〃	〃

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
53	町民歩け歩け運動大会	P. 27	体育館
54	ニュースポーツフェスティバル	P. 28	〃
55	ナイタースポーツ大会	〃	〃
56	ニュースポーツinスクール	〃	〃
57	ニュースポーツ移動教室	〃	〃
58	転倒・寝たきり予防教室	P. 29	B&G海洋センター
59	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム	〃	〃
60	マリンスポーツ体験学習	〃	〃
61	B&G海洋体験セミナー	P. 30	〃
62	B&G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	〃	〃
63	B&Gスポーツ大会青森県大会	〃	〃
64	B&G体験クルーズ	P. 31	〃
65	B&Gクリーンフェスティバルinなんぶ	〃	〃
66	B&Gみちのくアクアフェスタ研修会	〃	〃
67	町内文化財パトロール事業	P. 32	史跡対策室
68	国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	〃	〃
69	国史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・発掘体験)	〃	〃
70	奥州街道の整備	〃	〃
71	南部七唄(10回)七踊り(15回)全国大会	P. 33	〃
72	伝統芸能・技術の継承事業	〃	〃
73	より安全・安心のおいしい給食を目指します。	P. 34	学校給食センター
74	栄養バランスのとれた食事内容の充実を図ります。	〃	〃
75	手作りの料理を心がけます。	〃	〃
76	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。	〃	〃
77	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。	P. 35	〃

事務事業毎個別評価の観点

1. 実績の評価

・事務事業の実績の評価は、各事務事業の担当者が事務事業評価シートを作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- ※ ・**計画性** — 事業を必要とする社会性ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価。
- ・**効率性** — コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性の評価を行います。
- ・**効果性** — 総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を経年的に把握することや、事業に対する住民ニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価する。
- ・**妥当性** — 町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

評価が高い事業	◎
評価が中位の事業	○
評価が低い事業	△

2. 総合評価

・総合評価は、1の「実績の評価」をふまえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡 充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継 続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら現状どおり事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に中断・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

事務事業毎個別評価表

◎学校教育指導の方針と重点

(学務課関係 NO. 1)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)		
スクールサポーター配置事業	<p>小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とするなど、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援を行った。</p> <p>○配置人数 6名(福地小・剣吉小・名久井小・向小・南部小・南部中)</p> <p>○事業費 950,000円×6名 =5,700,000円</p>	<p>小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任の代わりにサポーターの先生が対応してくれるため、学級担任やクラスの他の児童生徒が授業に集中できた。</p> <p>また、児童一人ひとりに目が行き届いた教育活動を実践することができ、個に応じたきめ細かい指導を行うことができた。</p>	<p>小中学校の通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童・生徒数は年々増加傾向にあり特別支援の必要性も益々高まってきている。</p> <p>スクールサポーターの配置が必要な学校へ継続して配置できるように、学校においては人材の確保、町においては財政面の支援が出来る体制作りを進める必要がある。</p> <p>また、学校規模やニーズに応じたサポーターの配置人数等についても検討する必要がある。</p>		
1-(1)		実績の評価	◎	総合評価	A
心の教室相談員配置事業	<p>児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレス等を和らげることのできる、第三者的な存在となり得る、心の教室相談員を配置した。</p> <p>○配置人数 2名(福地中・名川中)</p> <p>○事業費 456,000円×2名 =912,000円</p>	<p>児童生徒が抱える悩み事等を気軽に話せる存在となり、学校内のいじめや非行等の問題を小さいうちに解消することができた。</p> <p>また、児童生徒の話し相手となることで、学校生活や日常生活におけるストレス等を和らげることができた。</p>	<p>不登校、不登校傾向の児童生徒も年々増えてきており、心の相談員のような特別支援員の必要性が高まってきている。</p> <p>必要とする学校へ継続して配置することができる体制整備を進めるため、学校としては人材確保、町としては財源の確保が必要となる。</p>		
1-(1)		実績の評価	◎	総合評価	A
スクールカウンセラー配置事業	<p>学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度で専門的な知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーとして配置するもので、県の事業である。</p> <p>カウンセラーは、児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者に対する助言・援助を行った。</p> <p>○配置校 1名で町内3小中学校(南部中・福地中・向小)</p>	<p>毎年、同じカウンセラーがカウンセリングを行っているため、児童生徒の実態を十分理解した上で、心のサインを受け止めてくれている。</p> <p>来校日には、児童生徒だけでなく、教員が子どもたちと、どう接すれば良いか等の指導方針についても相談したり、また、子育てに悩む保護者からの相談を受けたりすることもあり、とても効果的であった。</p>	<p>年々、スクールカウンセラーの需要が高まってきているものの、県ではこれ以上の拡充が出来ない現状にある。</p> <p>現在、スクールカウンセラーが配置されていない町内の学校からもカウンセリング等の要望が出ている。</p> <p>カウンセラーは、臨床心理に関して高度で専門的知識及び経験を有する者であるため、県の事業が打ち切りになった場合町単独としては人材の確保も難しく、また財政的にも厳しいものと思われる。</p>		
1-(1)		実績の評価	◎	総合評価	B

(学務課関係 NO. 2)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
小学校国内交流事業	南部氏の縁(えにし)に結ばれた山梨県南部町の児童との交流を通して、ふるさとの歴史や自然などについて理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる子ども達の友情や郷土愛を育むことを目的とする。 1年ごとの相互訪問交流を行っており、今年度は山梨県南部町を訪問した。 ○参加児童 30名(町内小学校5・6年) ○事業費 1,977,000円 (内参加者負担金210,000円)	2泊3日の宿泊を含む交流事業であり、他県の児童とも友情を育むことができ、また町内の小学校の児童同士の連携強化が図られ、郷土を愛する心の育成につながったものと考え。		この事業は、町内の小学5・6年生を対象とし、夏休み期間を利用して行っている。 これからの将来を担う子供達にとって、充実した体験(宿泊)活動であり、また心に残る事業であるため、今後も継続していきたい。	
1-(1)		実績の評価	○	総合評価	C
就学指導委員会委託事業	障害のある幼児及び児童生徒の障害の種類、程度及び発達の状況等についての専門的調査及び検査の実施や、就学機関等の適切な教育措置についての判定を行った。 障害のある幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談の実施。 ○委託料 年間200,000円 ○判定件数 31件	各小中学校、幼稚園等から相談票が提出された幼児、児童生徒について、専門的な調査・検査を実施し、その結果を基に適正な就学機関の判定を行うことができた。 また、その判定結果をもとに、各学校等においては、保護者等との就学指導、相談業務を円滑に実施することができたという報告があった。		就学指導業務は、特別支援学級の担任の先生方をはじめ、養護学校等の県の特別支援に関わる先生方をお願いしているのが現状だが、専門的知識が必要なこと、また、業務時間外の調査や会議等も多く、重い負担を強いられている。 継続した就学指導に関する専門的知識の確保や、多様化する就学事務等に対応するため、三戸地方教育研究会への委託も考えられるが、経費の負担が大きいため、今後、引き続き検討する必要がある。	
1-(1)		実績の評価	○	総合評価	B
特別支援学級設置事業	特別な支援を要する児童生徒が、適切な学区の学校へ入学、進学出来るように、必要に応じて特別支援学級を新設するなど、施設整備を行い受け入れ体制を整えた。 ○特別支援学級新設 1学級 (南部中学校 知的障害特別支援学級)	特別な支援を要する児童生徒が、学区内の学校へ就学できるように特別支援学級を新設することで、受け入れ体制を整えることができた。 また、就学に対する支障を取り除き、個別の教育支援を受ける機会を確保することができた。		本町在住の児童生徒で特別の支援を要する者に対し、それぞれの能力に応じた個別の教育支援が受けられるように、今後も必要に応じて特別支援学級の設置等を行い、受け入れ体制を整えていく必要がある。	
1-(1)		実績の評価	○	総合評価	B
食育に関する事業	学校と給食センターが連携をとり、食に関する指導を実施している。 また、学校・健康福祉課と連携をとり若年検診結果により食育指導を実施。 あおもりっ子食育実践事業における「地域子ども会議」に小学校及び中学校から各1名が参加し、「食」について話し合うことで、地域における子どもの食育の充実を図るとともに、地域の食の取り組みを県内に発信した。	学校、学校給食センター、健康福祉課と連携をとり、児童・生徒の食に関する指導が図られている。 また、地域子ども食育会議に参加することで、食について考える良い機会となった。		食育は、保護者の協力が不可欠であり、検診結果の事後指導等を保護者を含めて実施することに心がけていく必要がある。 あおもりっ子食育実践事業に参加し、今後も食について考え、行動することを継続していく必要がある。	
1-(4)		実績の評価	○	総合評価	C

(学務課関係 NO. 3)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
学校生活安全事業	安全指導として次の事業を行った。 ・施設設備の老朽化に伴う修繕及び危険箇所の修繕 ・不審者対策としてさすまた等の設置 ・不審者(声掛け事案)対策の徹底指導 ・学校、地域、保護者との連携による街頭指導 ・不審者が出現した場合の連絡通報 ・学校安全計画の策定の推進 ・学校安全対策推進連絡会議等への参加 ・食中毒発生防止対策の徹底	修繕及び不審者対策の備品等の設置は、計画通り図られている。 不審者対策については、児童生徒の指導や街頭指導が行われており、徐々に浸透しつつある。 「学校安全保健法」により策定する学校安全計画については、計画の見直し及び策定等を行い、学校の安全充実に努めるよう周知している。 学校安全対策推進事業に参加し、災害時における地域の安全箇所の見直し等を行うことが出来た。 夏場における食中毒の発生防止の周知を行うことができた。	各学校が児童・生徒の指導を徹底し効果を得ている。 また、校外での安全指導にも地域住民・保護者等に一層の協力をお願いし推進していきたい。 食中毒警報等を周知することで、食中毒の発生に対する啓発が図られているので、継続していきたい。	
1-(4)		実績の評価	△	総合評価 C
奨学金貸付事業	町内に住所を有する者の高等学校以上の学校に在学する生徒で、勉学の意欲を有し、心身が健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材を育成した。 ○平成20年度実績 (新規) ・貸付人数 高校 33名 (11) 専門学校 21名 (3) 短期大学 8名 (2) 大学 47名 (16) 合計 109名 (32) ・貸付総額 39,352,000円	平成20年度奨学金貸付対象者は109名(内新規採用者32名)であり、将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。 貸付事業を継続していくための資金となる奨学基金に不足が生じるため、貸付資金を一般財源より繰り入れが必要となるが、町の財政が厳しい昨今、貸付資金を確保することが難しくなるおそれがある。	現在、貸付の申請があった者で採用基準を満たしていれば貸付を行っている。しかし、今後貸付の資金が不足した場合に、採用基準を満たしても貸付を出来ない場合も考えられるため、採用の優先順位を整える必要がある。 経済上の問題から、就学のための資金を必要としている世帯も多く、事業の継続が必要と思われる。	
1-(6)		実績の評価	○	総合評価 C
教職員研修事業(ふるさと研修)	教職員新任者、転入者に対して、地域の教育課題・文化歴史等について、理解を深めてもらうことを目的に実施する。	南部町の教育課題、歴史、文化、各種事業の内容を理解し、学習活動に取り入れて、成果を上げている。	この研修が、研修生はもとより児童生徒の学習活動に役立つような研修内容になるよう、関係者からの意見を聞きながら内容を充実していきたい。	
1-(10)		実績の評価	△	総合評価 C
就学援助事業	経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒に対し、学校教育法の規定に基づき、学用品費・修学旅行費・給食費等を援助し義務教育の円滑な実施を図った。 ○要保護児童生徒 ・認定者数 (小)1名 ・事業費 40,488円 ※国庫補助1/2 ○準要保護児童生徒 ・認定者数 (小)142名 (中)65名 ・事業費 (小)10,018,257円 (中) 6,902,748円	本事業は、就学するうえで経済的問題が障害となっている世帯には非常に有効である。	申請理由の「経済的理由により就学が困難」の意識が以前と異なってきていると感じる。 認定基準に合致しても、認定者の普段の生活の様子から、援助の必要性が見られないこともある。 認定基準は各自治体に任されているが、現在の認定基準では殆どの家庭が該当する状況にあり、毎年増加している援助費予算措置等を考慮すると、当町も認定基準等の見直しが必要と考える。	
1-(1)		実績の評価	○	総合評価 C

(学務課関係 NO. 4)

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
特別支援教育就学奨励費事業	小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費・給食費等の補助を行った。 ○認定者数 (小)9名 (中)6名 ○事業費 (小)256,614円 (中)320,300円 ※国庫補助金が事業費の1/2以内で交付	対象となる世帯の認定基準は、所得指数が生活保護世帯の2.4倍以内であれば該当するように、基準が高く、殆どが該当する。 障害を持ち特別支援学級に在籍する児童生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減できた。	殆どの特別支援学級に在籍する児童生徒が対象となり、保護者の経済的負担を軽減できることから、今後も継続が必要と思われる。	
1-(7)		実績の評価	○	総合評価 C
幼稚園就園奨励費補助事業	幼稚園教育の推進を図るため、また就園幼児のいる世帯の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況に応じて、公立幼稚園は保育料の減免、私立幼稚園には補助金を交付した。 ○公立幼稚園 ・対象者 10名 ・事業費 286,000円 ○私立幼稚園 ・対象者 54名 ・事業費4,291,400円 ※国庫補助金が事業費の1/3以内で交付	19年度に引き続き、補助対象範囲が広がり、幼稚園に就園する幼児のいる世帯の経済的負担が軽減され、幼稚園教育の振興を図ることができた。 国の基準に準じて事務を行っているが、各自治体に任される部分もあり、要件等詳細に整備する必要がある。	幼稚園に就園している幼児がいる世帯の経済的負担が軽減されることから、補助要件等を詳細に整備し、継続していく必要がある。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価 C
相談窓口設置事業	教育に関し、誰でも気軽に相談できる窓口の設置した。	窓口は設置しているが、20年度は相談は無かった。	専用の窓口ではないが、随時対応しているため、窓口の設置の情報を周知する必要がある。 生活環境の複雑化とともに、相談内容が難しくなると想定されるが、対応していきたい。	
1-(5)		実績の評価	△	総合評価 C
教職員研修事業	国・県・財団等が主催する各種研修会を利用し、学校職員の研修に努めた。 ○防犯教育指導者研修会 ○道徳教育指導者研修 ○教員の社会体験研修 ○生徒指導主任研究協議会 ○小学学級経営研究協議会 ○進路指導主事研修会	各学校からの推薦により参加しており、種々の研修により指導力向上が図られた。	各学校とも教職員が多忙なため、なかなか研修に参加できない状況であるため、夏休み・冬休み期間中の実施を希望しながら参加者の取り纏めを行っていききたい。	
1-(10)		実績の評価	○	総合評価 B
学校・家庭・地域の連携による生徒指導	学校・家庭・地域社会が一体となった指導は、安全については強化されているものの、生徒指導については強化されていないため、安全指導を含めて、生徒指導の強化を図った。	学校・家庭においては協議会などで連携が強化されてきているが、地域との連携・協力はまだ十分とは言えず強化策が必要である。	地域との連携を強化するために、住民参加型の講話等を実施し、地域住民の理解を深める。 地域住民の諸団体に協力を求め進めるために、学校行事の安全指導への参画を推進する必要がある。	
1-(5)		実績の評価	○	総合評価 C

(学務課関係 NO. 5)

事務事業名	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
学校教育指導の重点との関連				
学校の芸術文化活動事業	文化庁の事業として実施されている「本物の舞台芸術体験事業」並びに「学校への芸術家等派遣事業」を活用し、小中学校より希望を募り実施に向けての手続きの事務事業を行った。	音楽の生演奏を鑑賞したり、地域に伝わる伝統芸能を体験することにより芸術・文化に対する感性を養い、創造性を育むことができた。 通常とは違う授業内容であり、児童・生徒達もたいへん興味を示している。	現在は文化庁の事業であるが今後この事業の先行きは見えない。 町として、文化芸術に親しむ機会を創っていく必要がある。 今後、町独自の事業として実施する場合、ステージや鑑賞場所の問題を解決しながら、学校間の同時開催などの検討が必要である。	
1-(3)		実績の評価	○	総合評価 B
学校施設管理事業	幼稚園・小学校・中学校の学校施設を良好な状態に維持していくために、施設管理委託業務(機械警備・設備点検)や修繕工事を実施し、健全な生活環境の整備を行った。	当初計画(予算)に計上された修繕及び委託業務の他、必要に応じ年度途中においても補正により、学校遊具・消防用設備等の修繕を行い、良好な状態に維持された。	町には耐震化が必要な施設が6施設有る。危険校舎の取り壊しが終了したが、残りを計画的に推進しなければならない。 また、学校の遊具等も老朽化し、修理ができないものも見受けられるため、危険遊具については撤去し、新設するなど改善を図る必要がある。 学校施設の耐震化は全国的な課題であり、確実に推進する必要がある。	
1-(3)		実績の評価	○	総合評価 B
中学生海外派遣事業	町内4中学校の2年生から40名を選抜し、6泊8日の日程でアメリカ合衆国ハワイ州に派遣する。 研修では、ホームステイを行うとともに、現地の中学校を訪問し、交流を深めた。 ○参加者数 40名(他引率等 6名) ○事業費 14,093,048円	参加生徒の英語能力の向上等具体的な成果は明確になっていない。 しかし、中学生という多感な時期に海外を訪問することにより広い視野を持つ。選抜されたことにより、各学校のリーダーとしての意識を持ち積極的に学校内外の活動に取り組む姿勢等が伺える。	選考方法が選抜ということで、選ばれなかった生徒に対する適切な指導が必要。 参加者一人当たりの経費が307,000円、内自己負担90,000円がかかっている。 安い経費で参加できるサマーキャンプ等との併催等も考慮していきたい。	
1-(9)		実績の評価	○	総合評価 C
外国語指導助手配置事業	町内の小・中学校に、各地区毎1名ずつ、計3名の外国語指導助手を配置している。 小・中学校の授業では教員の補助として主に英会話、文化の紹介等を行っている。 (小学校は隔週訪問、中学校は毎週訪問している。) 授業の他、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英会話指導も行った。	英語を母国語とする、外国語指導助手が生徒の身近にいることにより、英会話能力の向上及び異文化へ興味・関心を持つことが期待されている。	平成23年度から小学校において英語が必修化されることに伴い、小学校での授業数が増えるので、小学校の授業の内容について、今後検討していく必要がある。 また、英語を専門にしている小学校の教員が少ないので、どのようにコミュニケーションをとっていくのかも検討課題である。	
1-(9)		実績の評価	○	総合評価 B

(幼稚園関係 NO. 1)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要及び実績	事務事業の点検・評価	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
教育課程 (名川幼稚園)	教育目標の「心ゆたかで、げんきにあそぶ子ども」のもとで、「げんきにあそぶ子、いっしょうけんめいあそぶ子、なかよく遊ぶ子」の努力目標達成に向かって子ども達の成長に努めた。 ○入園児数 3歳児 15名 4歳児 29名 5歳児 28名 計 72名	努力目標「げんきにあそぶ子、いっしょうけんめいあそぶ子、なかよくあそぶ子」のもと、「今日は○○ちゃんとあそぼう」「○○してあそぼう」という期待を持って登園してくる子どもたちに教師は、子ども達の心を汲み取り、より一層あそびが発展するよう環境を設定し、援助することで、子ども達の心の安定を図っていく。	子どもが安定した園生活を送るためには、教師の言葉掛けや援助が不可欠であるが、友だちの存在が大きな影響を与えるものである。友だち関係が円滑であるために教師間の子どもに対する共通理解や意思統一が一層大切なものになってくる。 今後も教師間で子どもに対する情報交換をし、繰り返し繰り返し子ども理解に努めていきたい。	
1-(13)		実績の評価 ○	総合評価	C
教育課程 (南部幼稚園)	3歳児を受け入れてから3年経過した。 これまで長期の指導計画は年少児(3歳児)は、年中児・年長児とは別の様式を使用していたが、見直しをし3年間を12期に分け一貫した指導計画が図られた。	新教育要領になり、更に20年に一部改訂になったので、その内容も考慮に入れて指導計画を作成する。 今後は、内容をより充実したものにすため、反省や見直しをこれまで以上に吟味し、本園に合った指導計画に努めていく。 また、教育目標・努力目標も見直しをするなど、職員の共通理解を図っていききたい。	22年度は青森県幼稚園教育課程研究大会の発表園になっているため、それに向けて教育課程等の内容の見直しをしたり、共通理解を図りながら、園内研を少しずつ進めていきたい。	
1-(13)		実績の評価 ○	総合評価	C
発表会(ゆうぎ会) (名川幼稚園)	友だちと歌や楽器、ゆうぎ、劇などを役割分担しながら、表現することを楽しむことができた。 ○参加数 園児 72名 中学生ボランティア 10名	沢山の観客(保護者や祖父母)の前で、積み重ねてきた表現活動を友だちと一緒に発表出来たことで、自信を持たせることができた。 また、ゆうぎや劇発表には、衣装を着けてその役になりきって発表を楽しんでいる。 中学生ボランティアによるステージ準備や、子どもたちの着替えの手伝いなどの協力も大きな力となっている。	開園以来続いている行事の一つで保護者の方々も楽しみにしている。 また、子どもたちもゆうぎ会を経験することで、表現することに興味・関心を持ち、友だちとのつながりも一層強くなるので、子どもたちが興味を持って楽しんで参加できるように、教師間で打ち合わせを密にし、プログラム内容や衣装に工夫や変化を持たせるように考慮していききたい。	
1-(13)		実績の評価 ○	総合評価	B
発表会 (南部幼稚園)	日頃の幼稚園生活での活動を、劇や紙芝居・ペープサートなどで表現したり、友達と相談し、協力しあいながら衣装や道具を作ったり、ものを発表する発表会は、子どもの成長の姿を見て貰う良い機会である。 この時期になると、創造力も豊になり(特に年長)友達とイメージをふくらませ、劇のストーリーを作ったり、紙芝居を協力しあって作ったりして、南部幼稚園ならではの発表ができた。 ○事業費 10,580円(賞品)	発表会当日の出来映えがどうだったかではなく、発表会までの日常の活動を楽しんでいるか否かが大切である。 本園はそれまでの過程を重視している。教師主体ではなく、子どもたちが発表会に向けて友達と一緒に生き生きと活動している様子は自分たちの力を存分に発揮している。 3クラス合同の合奏(遊戯)の練習の時間の取り方や教師の役割分担など指導法の工夫が今後の課題である。	これまで行ってきた生活発表会はさしたる問題もなく、園児一人一人が生き生きと活動している。 園児数が少ないので自分を発揮できる場が多いので、一人一人をよく把握し、個性を大事にしながら発表会を進めていきたい。	
1-(13)		実績の評価 ○	総合評価	B

(幼稚園関係 NO. 2)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要及び実績	事務事業の点検・評価		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
お泊まり保育 (名川幼稚園)	お泊まり保育で、友だちと協力し合いながら、様々な体験をすることで、自分のことは自分でするという自立の自信を持たせることができた。	お泊まり会を経験することにより、家族と離れて自分ひとりで泊まるという経験のない子どもにとって、友だちや教師と一緒に幼稚園にお泊まりをして共同生活をすることにより、子どもたちが自立に対する自信を持つことが出来た。		お泊まり会を体験することで、子どもたちに一人で泊まれたという自信と達成感が見られる。しかし、親元から離れて泊まることに、子どもたちより保護者の中に不安を抱く場合が見られることがあり、園だより等や前年度の話や写真を紹介して不安を取り除き、行事の理解をしてもらうことが大切である。 お泊まり保育は、子どもたちの成長の過程において貴重な体験なので、今後も保護者の理解協力を得ながら、継続実施する。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
お泊まり保育 (南部幼稚園)	いつもと異なる環境の中での集団生活(お泊まり保育)をとおして望ましい人間関係の育成を図り、自立への自信を持たせることができた。 お泊まりをする場所は、南部幼稚園で、年長児のみ10名。 年少児・年中児は夜店ごっことキャンプファイヤーまでの参加である。	今年度の年長児も殆どの子は一人で他に泊まるという経験がなかった。初めての経験だったが、親元を離れて友達と協力しあいながら楽しく過ごすことができた。 また、自分のことは自分で出来るという自立に対する自信を持つことができた。親も子どもの成長ぶりをあらためて感じた様子だった。 この行事に積極的に親も協力してくれてとても助かっているが、あくまでも園児主役の行事なので父母の活動が行き過ぎないように気をつけながら進めていかなければならない。		親元を離れてのお泊まりに対して子どもだけでなく、親も不安感があるようなので、事前に前年度のお泊まり保育の話や写真を聞かせたり、写真を見せたりするなどして保護者の不安を取り除くような配慮が大切であった。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
運動会 (名川幼稚園)	友だちと共通の目標に向かって、協力し・活動することを楽しみ、「家族みんなで参加し楽しめる運動会」をねらいとし、父母・兄弟・祖父母も参加できるように競技に工夫をこらした。 ○参加者数 園児72名ほか(保護者・兄弟・祖父母)	家族で参加できるように、日曜日に実施していることもあり、家族の参加・応援が賑やかである。 保護者、兄弟、祖父母の競技も準備してあり、率先して参加してくれる。 5歳児には、一人一役として団長をはじめ、開会式・閉会式にプラカード持ちや、体操のお兄さんなどの役割分担で参加している。		運動会経験後は、身体を動かすことや競争することに興味、関心を持って遊びも活発になっている。 競技を検討するときには、教師間で打ち合わせを密にし、子どもたちに無理のないように、また、興味を持って参加できるように工夫し、子どもたちの楽しい思い出になるよう考慮する。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B

(幼稚園関係 NO. 3)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要及び実績	事務事業の点検・評価		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
運動会 (南部幼稚園)	<p>運動会は年間行事の一つになっているが、練習から当日までの一連の中で、子どもたちの生活の延長線上にあるものという考え方でやっている。つまり、日頃の運動的な遊びや活動から種目の内容を考えるなど、子ども主体で行うことができた。</p> <p>園児数が少ないため、種目の半数は父母と一緒に競技が中心になっているが、父母をはじめ、家族がとても協力的で盛りあがった運動会であった。</p> <p>○事業費 7,360円(賞品代)</p>	<p>園児主体の運動会をモットーにしているため、子どもたちが運動会前から当日まで楽しく練習をするという過程を大事にしている。</p> <p>運動会は家族と一緒に楽しみ、運動会後はしばらく余韻を楽しむような環境の構成をしている。</p> <p>園児達は心身共にまだまだひ弱さを感じるため今後も競技などをおして葛藤や困難を乗り越える力を育てる場を工夫していくことが大切である。</p> <p>また、運動会をおして自らの生命を守ることを教えていながら、教育目標である、心豊かでたくましいこどもを目指したい。</p>		<p>教育要領では「しなやかな心と体の発達を促す」ことを求めている。これは、柔軟性や回復力の育成ということであるが、運動会や日常の活動の中で危険を回避する身のこなしを養い自立心を育て、友達と力を合わせながら、主体的に運動に取り組めるような環境構成の工夫に努める。運動を通して自らの生命を守ることを教えていながら、教育目標である、心豊かでたくましいこどもを目指したい。</p>	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
体験活動 (動植物の飼育・栽培) (名川幼稚園)	<p>金魚や熱帯魚、亀などのほかに、オタマジャクシ、クワガタ虫やカブト虫の成長の様子を観察したり、餌を与えたりしている。</p> <p>畑では、枝豆・ジャガイモ・サツマイモの栽培を5歳児が中心となって栽培をし、収穫は全園児が協力して行い、家に持ち帰ったり、サツマイモは落ち葉集め等をして焼き芋にして熱々のところを食べたりしていた。</p>	<p>飼育図鑑などを見ながら、興味をもって飼育物の成長を見守っている。</p> <p>飼育物を世話することで、生き物の命の大切さに気づき、やさしさが芽生えている。</p> <p>畑での栽培は、水やりや草取りなどの世話をすることで、「食」への関心を持ち、収穫して持ち帰ることで、お家での食事喜んで食べているという保護者の声が印象的である。</p>		<p>飼育物の世話をしていると「生」と「死」の場面に出会うが、その場その場で命の大切さを知らせるには良い場と思う。</p> <p>また、畑での栽培を通して、自分たちで栽培、収穫したという体験から「食べる」ということに一層興味関心を持つようにし、これからも子どもたちと一緒に体を使ったの体験に努めていきたい。</p>	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	C

◎社会教育指導の方針と重点

(社会教育課関係 NO. 1)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
家庭教育セミナー	町内の幼児の保護者を対象に、子育てに関する資質の向上を目的に講座を開催した。 ○参加者数 373名 ○実施回数 6回 ○実施場所 町内乳幼児施設 ○事業費 25,000円	乳幼児施設を利用し、多くの保護者が集まる機会を利用した事業であるため、学習効果は大きかった。 また、開催内容は各施設で違うものの、親子や祖父母とのふれあいを兼ねながら行われ、子育てに関する事業として非常に有意義であったと考える。		多くの保護者が集まる機会を利用し、行事中の講座開催のため、子どもも参加できる内容が多くなっている。 今後は内容について、若干の修正等が必要と考える。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	A
ふるさと学習キャンプ	ふるさとの自然を体験し、同年代・世代間の交流を深め、子どもの豊かな人間性を育むことを目的に、共同生活体験・野外炊事体験・工作体験等を行った。 ○参加者数 23名 ○実施日 平成20年8月8日～9日(1泊2日) ○実施場所 名川チェリリン村 ○事業費 25,000円	せんべい焼き体験やドラム缶風呂など、日頃体験できないプログラム内容を設定でき、子どもたちが生き生きと活動した。 また、町民の協力を得られたことから、地域教育力向上の一助となった。 さらに、前年度に比べ参加人数の増加がみられ、多くの子どもに豊かな人間性を育む機会が与えられたと考える。		自然や生活・社会体験など、様々な体験活動の機会を通し、社会性や思いやりなどの豊かな人間性を育む事業としては効果は大きいとみられ、今後とも拡大充実がのぞまれる。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	B
生活体験学習推進事業(通学学習)	子どもの豊かな人間性を育むことを目的に炊事・洗濯・清掃体験、集団学習活動、交流活動を行った。 ○参加者数 49名 ○実施日 平成20年6月29日～7月2日(3泊4日) ○実施場所 保健福祉センターぼたんの里 ○事業費 126,000円	子どもの自主性を育むプログラムとして、食事の準備から後片付け、洗濯や清掃体験、通学と帰宅、集団学習などを行った結果、自宅に戻った後の生活に成長が見られたとの報告が多数あった。 また、参加者へ個人目標を設定させたことにより、目標達成のために努力している様子が見られた。		子どもの豊かな人間性を育むプログラムとしては非常に有効であるが、対象である小学5～6年生の学校行事が重複しており、実施方法等若干の見直しが必要である。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	C
女性学級	町内の女性が広く教養を身につけ、資質の向上を図ることを目的として、講座を開催した。 ○参加者数 のべ120名 ○実施回数 3回 ○実施場所 中央公民館他 ○事業費 20,000円	南部町連合婦人会が主体となり、講座の計画や周知等、自主的な活動で開催されているため、当初の目標である学習者の自発的学習体制は確立されている。 教室は、グランドゴルフ大会、調理実習、布製わらじ作りなど、女性が興味を持ちやすく参加しやすい内容で行われた。		内容・開催方法に関しては特に問題はないが、参加者が概ね婦人会の会員であるため、一般からの参加が望まれる。 女性の地域における社会連帯意識の確立や形成、資質向上にむけてこの事業は非常に有効であり、これからも拡充・充実が必要と考える。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	C

(社会教育課関係 NO. 2)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
学校と地域ネット推進事業	町内各小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家・愛好家の方々に授業等の学校教育活動に参加してもらうことにより、児童生徒の基礎的・基本的事項の定着を図り、地域に対する、愛着の心を育むために、学校の要望に応じて、講師(ゲストティーチャー)を依頼、派遣した。 ○対象 町民、児童・生徒 ○参加者数 講師45名 学習者のべ7,466名 ○回数 170回 ○予算区分 町単費 330,000円	この事業を利用する学校は、増加の傾向を見せている。学校の授業の中で行われる指導に対して、講師に謝金を支払っている。 学校支援地域本部事業(国委託事業)との整合性を図るため、謝金については見直しが求められる。		当事業実施における拡大・充実を図ったことにより、昨年度よりも実施回数が増えている。文科省、県教委ともに学校と地域の協働による教育活動を推し進めていることから、当事業の予算規模や利用件数を拡大していきたい。	
2-(1)		実績の評価	◎	総合評価	A
成人式	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い、励ますことを目的に開催した。 ○参加者数 266名(男性127名、女性139名) ○実施日 平成21年1月11日 ○実施場所 町民ホール ○内容 式典・記念コンサート・記念撮影 ○事業費 590,000円	昭和63年4月2日から平成元年4月1日の間に生まれた者(南部町に在住の者及び町内中学校卒業生)を対象としている事業。 式典は主催は南部町、主管として南部町教育委員会、後援として南部町連合青年団での開催で連合青年団には多大なる協力をいただいた。		式典に関しては主催は町であるが、新成人が自発的に参加できるような状況を設定し、プロセスに関わりを多く持ち、青年活動へつなげる方策が必要と考える。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	C
文化賞・スポーツ賞表彰	文化・スポーツに功績があった方(団体・個人)、また顕著な成績をおさめた方(団体・個人)を表彰した。 ○内容 文化功労賞、文化賞、文化奨励賞・スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞 ○被表彰者 個人109名、団体2団体 ○事業費 町単独費 300,000円	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績があった方を表彰した。		表彰することにより、更なる励みになる事業で、今後も継続していきたい。	
2-(1)		実績の評価	○	総合評価	B
南部ふるさと塾	ふるさとの歴史、伝統、文化等を学ぶことを目的に、町内史跡・文化財探訪、講演会を行った。 ○参加者数 のべ134名 ○実施回数 町内史跡・文化財探訪 1回 講義 5回 ○実施場所 福地地区(探訪)、剣吉公民館(講義) ○事業費 99,000円	周知や講師の設定など、共催である南部町歴史研究会の協力により開催している。 参加者も歴史研究会員が多く、自発的に学ぶ体制が整えられている。		今後は、幅広い講演内容や歴史・伝統の学習を目指し、成人教育の一環として、自発的に学べる体制を整えながら、拡大・充実を図っていきたい。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	A
子育て・親育ち講座(地域における家庭教育支援基盤形成事業)	町内小・中学生の保護者を対象に、子育てに関する資質の向上を目的に講座を開催した。 ○参加者数 のべ500名 ○実施回数 23回 ○実施場所 町内小・中学校 ○事業費 249,469円/1,854,000円	参観日や就学時健診、PTA研修会など保護者が多く集まる機会を利用し食育や若年生活習慣病予防、親子関係の築き方、心の健康に関する講話などをテーマにかいさい。 家庭教育の大切さを訴え、子育てに関する知識や意識の向上を図ることができた。		家庭教育の支援・学習機会の推進を図るため、この事業の効果は大きいと考えられる。また、今後の子育て・家庭教育支援の重要性や必要性を鑑み、事業の拡大が望まれる。 次年度は、事業内容変更のため、町単独で開催。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	C

(社会教育課関係 NO. 3)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)		
家庭教育支援チーム(地域における家庭教育支援基盤形成事業)	家庭教育支援チームが町内小・中学校や乳児施設、子育てに関わる町行政機関に出向き、周知活動を行いながら、親が集まる機会や行事等の情報収集、子育てに関する情報交換に努められるよう、助言や支援を行った。 家庭教育支援チームの子育て・親育ち講座での活動や、チーム員の資質向上のための会、保護者からの相談対応に関する支援を行った。 ○家庭教育支援チーム アドバイザー2名、サポーター3名 ○活動日数 アドバイザー38日、サポーター107日 ○実施場所 中央公民館(相談対応)、町内小・中学校(講座等)	保護者への活動及び活動内容の周知が不足であったためか、相談来訪者は少ない状況であったが、子育て・親育ち講座時に情報を求める保護者等があり、子育てへの関心や家庭教育支援チームへの信頼は深まってきていると思われた。 その他、家庭教育支援チーム独自の活動を計画し、家庭教育の情報発信を考えるまでに至った。	家庭教育支援チームを中心として、保護者同士のつながりをもたせ、家庭教育・子育てに関心の低い保護者や問題を抱える保護者に対し、情報交換や相談体制を作る工夫が必要であったと考える。 次年度は、事業内容変更のため、廃止となる。		
2-(2)	○事業費 1,388,301円/1,854,000円	実績の評価	△	総合評価	D
家庭教育推進協議会(地域における家庭教育支援基盤形成事業)	家庭教育推進協議会の会議開催と事務経理を行った。 南部町の家庭教育に関する問題等の協議と解決のための支援。 ○家庭教育推進協議会委員 10名 ○会議回数 4回 ○事業費 216,230円/1,854,000円	子育て・親育ち講座でのアンケート結果から、家庭教育支援に関する問題点等を見つけだし、解決策を協議後、各関係機関に周知した。 また、今後の家庭教育支援のあり方についても協議し、事業普及のチラシを作成配布した。	各関係機関や家庭教育支援チームとの連携から、家庭教育に関する資質の向上に役立ったと考える。 次年度は、事業内容変更のため、廃止する。		
2-(2)		実績の評価	△	総合評価	D
学校支援地域本部事業(国委託)	地域住民が積極的に学校を支援し、地域の教育力の向上を図った。 学校の要望に応じて学習支援ボランティア・環境支援ボランティアを募集し、コーディネータが学校地域の調整を図り事業を実施した。 ・実行委員会の開催(年3回) 実行委員8名 ・学校支援地域本部の活動(小学校5校・中学校3校) ・学習会(1回) 経費 1,782,000円	国委託による事業。 町内小・中学校12校中8校で実施された。 学校の要望により事業が行われるが、今年度(1年目)は事業の周知と体制作りに終始した。南部・名川・福地地区にそれぞれ1名のコーディネーターを配置したが、1名で複数の学校を担当することは困難ということであった。1校当たり1名のコーディネーターの配置が必要と考える。 事業については、学校を支援するということであるが、学校にとっては学習理解の向上が見られ、地域にとっては子どもたちとのふれあいが図られ、どちらにとってもプラスとなるものとする。	文科省・県教委とともに、学校と地域の協働による教育活動を推進していることから、この事業は継続・拡大するものと考ええる。 コーディネーターの働きかけにより、来年度は町内全校でこの事業に取り組むことになりそうである。 コーディネーターの増員を図り、より円滑に事業が遂行できるよう、体制づくりにつとめたい。		
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	A

(公民館関係 NO. 1)

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要及び実績	事務事業の点検・評価		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
アロマフィットネス講座	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単に出来るエクササイズを結びつけた運動を通して、健康維持の一助けとなるように努める。 ○開催回数 10回 ○参加者 延べ106名	心と身体の健康管理・健康づくりに効果が大きく、参加者の学習意欲も高い。		参加者の健康管理・健康づくりに対する意識が高まり、事業の効果は大きい。 参加の状況もよく、今後も同様に開催したい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
着付け教室	日本の伝統ある着物を自分で着付け出来るようになることで、潤いのある生活形成を図る。 内容として、着付けに関する講義と演習 ○開催回数 10回 ○参加者 延べ145名	参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされている。 伝統文化に対する意識が高まってきている。		講座の内容も充実しており、参加者の学習態度も良く、事業の効果は大きい。 講座の人気も高く、今後も同様に開催したい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
おもしろ体験教室	町内の児童・生徒とその保護者を対象に、いろいろな体験活動をおこない、知識教養を身につける。 内容として、親子星空観望会、釣り体験教室、音楽学習会の実施。 ○開催回数 9回 ○参加者 延べ92名	天体望遠鏡での星の観望。岸壁での釣り体験では、自然・環境・食について考えるよい機会となった。 また、音楽に親しむ音楽学習会は身近に音楽や楽器に接することができた。		体験活動を通して学ぶことは多く、また、親子での参加によりふれあいの良い機会となり、効果は大きい。 また、次年度は「世界天文年」でもあるため、星空観望会は拡大をしながら、同様に継続開催していきたい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
英会話教室	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、簡単な日常会話ができるようにし、国際理解の一助とする。 内容として英会話に関する講義と演習を実施する。 ○開催回数 15回 ○参加者 初級延べ156名・中級延べ67名	初級・中級の2クラスで開催しているため、レベルに応じた学習ができる。 参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされている。 外国人講師による、本物の英語を学ぶ良い機会となっている。		学習方法や内容は充実しており、事業の効果は大きい。 講師の都合により6月～8月に休講となり、期間が空くことが検討課題となっているため、改善しながら継続していきたい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
書道教室	書道に親しむことにより、文化に親しみ自己啓発を促す。 成人町民を対象に行っている。 ○開催回数 15回 ○参加者 延べ160名	参加者の個々の目標は概ね達成された。 学習内容の特性上、習熟度を考慮した計画としていく。		事業の効果は大きい。 自主運営への移行など検討が必要であるため、改善しながら継続開催していきたい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	C

(公民館関係 NO. 2)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要及び実績	事務事業の点検・評価		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
IT講習	住民の情報通信技術に関する基礎的 技能の向上を図る。 町民を対象にパソコンの基本操作・文 書や表計算の作成の仕方等を学ぶ。 ○開催回数 8回 ○参加者 延べ162名	参加者の学習意欲も高く、個々の 目標は概ね達成された。 入門レベルの講座であり、さらに学 習したい場合は、自主運営の講座を 受講している。		初心者・初級者向けの講座で あり、住民のニーズは大きく、 事業の効果は極めて大きい ので、継続開催していきたい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
読み聞かせ教室	町民を対象に、読み聞かせの意義や、 読み聞かせの技術を学び、読書団体の 育成を図る。 ○開催回数 1回 ○参加者 8名	読み聞かせに関する知識が深まり サークル同士の良い情報交換の機 会となった。		読み聞かせの効果は非常に 大きいため、事業は必要と思 われ、開催方法等を検討しな がら、継続開催していく。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	C
趣味の教室	町民が興味・関心のある教室を開講し、 自己の知識、能力の向上を図る。 町民の希望により、生け花・エアロビクス ・コーラス・よさこい等全20講座を開催し ている。 ○参加者 延べ3,562名	各教室は、自主運営されており、参 加者の学習意欲も高い。 年度末に閉講式を兼ねて発表会を 行っている。		事業の効果が大きいので、今 後サークル活動への移行も検 討しながら次年度以降も同様 に開催したい。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B

(体育館関係 NO. 1)

事務事業名	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
学校教育指導の重点との関連				
町民運動会	<p>全町内を対象とする統合チームによる町民運動会が地域の理解・協力により全町内の参加を得「第2回南部町民運動会」を開催することができ、住民相互の親和と明日への活力を養うことができた。</p> <p>○対 象 南部町民 ○参加者数 2,015人 ○開催日 9月28日(日) ○事業費 2,400千円</p>	<p>今後、町内全域の参加の促進及び競技進行・内容・会場設備などの精査等の課題解決に向け取り組みたい。</p>	<p>町民の健康維持・増進と親和を図り明日への活力を養うように、町内会からの意見等を聞きながら改善できるものは改善して課題解決に向け取り組んでいきたい。</p>	
2-(4)		実績の評価	◎	総合評価 A
うぐいすマラソン大会	<p>参加者一人ひとりの健康増進に努めるとともに、参加者相互の親睦を図った。</p> <p>高校・一般男子10kmのほか全13種目のマラソン大会</p> <p>○実施日 4月27日(日) ○場所 福地多目的広場発着 ○参加者 637名 ○事業費 680千円</p>	<p>毎年、時期的に早いため、その年の試し大会的な要素を含む。</p> <p>参加者数は横ばい状態ではあるが、マラソン愛好家に親しまれている。</p> <p>町のPRも視野に展開している事業であり、今後は規模を拡大していきたいと考えているが、現在のストップウォッチによるタイム計測、目視によるナンバーカード確認、手書きの記録では対応が困難になってきている。</p>	<p>参加者拡大と同時にチップシステムの導入が必要不可欠である。</p> <p>導入することにより経費は増大するが、間違いが無くなること、表彰までの時間が短縮できること、計時・記録・集計のスタッフをほとんど必要としないこと等、メリットが多い。</p>	
2-(4)		実績の評価	◎	総合評価 A
南部町縦断駅伝競走大会	<p>陸上競技のレベルアップをはかること、駅伝競技の普及と参加者相互の親睦と融和を図った。</p> <p>駅伝競走大会(町内小学校、三戸郡下中学校、高校、一般の3種目)</p> <p>○実施日 11月2日(日) ○場所 南部町内 ○参加者 266名(小学校9チーム・中学校男子9チーム・中学校女子8チーム・一般8チーム) ○事業費 990千円 (内参加者負担金95千円)</p>	<p>チーム数が6チーム増え、十分満足できるチーム数であったと考える。</p> <p>しかし、大会当日の悪天候(雨)に対する対策が不十分であったため、来年度は参加者の立場に立って考え、運営を進めていきたい。</p>	<p>大会当日の悪天候(雨)に対する対策が不十分であったため来年度は参加者の立場に立って考え、運営を進めていきたい。</p>	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価 C
町民歩け歩け運動大会(第3回)	<p>日常生活に潤いと歩くことの必要性を理解してもらい、健康で明るい町づくりを推進した。</p> <p>○実施日 10月5日(日) ○場所 八甲田鳶沼周辺 ○参加者 63名 ○事業費 304千円 (参加者負担金189千円) 1人3000円</p>	<p>今年度は、各種スポーツ大会の日程により10月上旬の開催であったが、幸いにも天候に恵まれ、予定どおりのコースで行うことができた。</p> <p>今後、参加者からの意見を取り入れ開催会場及び内容等について検討し、充実する事業内容にしたい。</p>	<p>来年度の開催時期については各種大会・事業と重複しない時期(7月頃)に計画したい。また、町民からのニーズもあり、体力づくりの一助となる事業であるといえる。</p> <p>住民の体力づくり維持・増進は必要である。また、歩くことは各々の体力に合わせ、誰でもどこでも気軽にできる運動であり、今後も住民に関心を持ってもらうために事業を展開したい。</p>	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価 B

(体育館関係 NO. 2)

<p>事務事業名</p> <p>学校教育指導の重点との関連</p>	<p>事務事業の概要(内容)</p>	<p>事務事業の実施状況</p>		<p>総合評価(事業の評価・今後の方向性)</p>	
<p>ニュースポーツ フェスティバル</p>	<p>冬場は、「身体を動かす機会がない」「ストレス発散の場がない」等のことから、ニュースポーツを通して地域住民の健康維持・増進を図るとともに、各地区との交流、仲間づくりの推進に努めた。</p> <p>町民を対象としたニュースポーツ体験会 ○実施日 3月15日(日) ○場所 南部町民体育館</p>	<p>周知方法と実施時期が非常に悪かった。「町民にとって何が必要か、また何を望んでいるのか」を実態調査する必要がある。</p>		<p>町民が望むスポーツ大会等の実施と地域の特色を活かしたスポーツ活動をしていかなければならない。</p> <p>スポーツに理解と関心を持って貰う為の事業であり、今後は周知方法と事業内容を検討し、参加者の増を図ることが必要である。</p>	
<p>2-(4)</p>	<p>○参加者 55名 ○事業費 94千円</p>	<p>実績の評価</p>	<p>○</p>	<p>総合評価</p>	<p>A</p>
<p>ナイタースポーツ 大会</p>	<p>スポーツを通じて心身を鍛え、健康で明るい町づくりに寄与するとともに、体力増進・生涯スポーツの推進を図った。</p> <p>町内対抗ユニホック大会・軟式バレーボール大会 ○実施日 ユニホック1月19日～29日 軟式バレー3月4日～12日 ○参加者 のべ500名 ○事業費 190千円</p>	<p>昨年度に比べ、参加チームが減少していることから、町民にとって何が必要か、また何を望んでいるのかを把握する必要がある。</p>		<p>スポーツに関するアンケート調査等を行い、より多くの町民が参加できるスポーツを調査しなければならない。</p>	
<p>2-(4)</p>	<p>○事業費 190千円</p>	<p>実績の評価</p>	<p>○</p>	<p>総合評価</p>	<p>A</p>
<p>ニュースポーツi nスクール</p>	<p>青少年のスポーツ活動の充実とニュースポーツの普及を図った。</p> <p>町内小・中学校の要望に応じてスポーツ教室を開催した。 ○実施回数 30回 ○参加者 のべ677名(講師13名) 事業費 54千円</p>	<p>福地地区からの要望が増え、事業の拡大が図られたと考える。</p>		<p>来年度は、要望の少ない南部地区への周知を徹底していきたい。</p>	
<p>2-(4)</p>	<p></p>	<p>実績の評価</p>	<p>◎</p>	<p>総合評価</p>	<p>A</p>
<p>ニュースポーツ 移動教室</p>	<p>ニュースポーツの普及と地域住民の健康維持・増進を図った。</p> <p>町内の各種団体の要望に応じてスポーツ教室を開催した。 ○実施回数 7回 ○参加者 のべ434名(講師5名) 事業費 52千円</p>	<p>昨年度に比べ、若干ではあるが依頼数が増加した。</p> <p>親子レクでの依頼が多いので、学校へ周知し事業拡大を図りたい。</p>		<p>親子レクでの依頼が多いので学校へ周知し事業拡大を図りたい。</p>	
<p>2-(4)</p>	<p></p>	<p>実績の評価</p>	<p>◎</p>	<p>総合評価</p>	<p>A</p>

(B&G海洋センター関係 NO. 1)

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
転倒・寝たきり 予防教室	<p>運動の楽しさや重要性を知ってもらうことで習慣化を促し、転倒・寝たきり予防を図るとともに参加者の生きがいづくりをめざした。</p> <p>ストレッチ、筋力トレーニング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ、健康についての講話、健脚度測定。</p> <p>○実施場所 ぼたんの里、福寿館、海洋センター</p> <p>○実施回数 36回</p> <p>○参加者数 南部地区:23名(延べ210名) 福地地区:26名(延べ243名) 名川地区:30名(延べ233名)</p> <p>○事業費 報償費 123,000円 旅費 46,960円</p>	<p>高齢者を対象にしているため、参加者の体力レベルや当日の健康状態に留意し、事故が発生しないように実施した。</p>		<p>今後も参加者に事故がないよう留意する。 教室開催期間だけでなく、継続して運動するよう促す。</p>	
2-(4)		実績の評価	◎	総合評価	B
水に賢い子どもを 育む年間型活動 プログラム	<p>名久井小学校4年生を対象に、年間を通して「水」をキーワードに自然環境、安全学習、水性生物についての体験や実験物作りを指導した。</p> <p>○実施場所 名久井小学校、如来堂川、馬淵川、海洋センター</p> <p>○実施回数 7回</p> <p>○参加児童 26名</p> <p>○事業費 消耗品費 28,617円</p>	<p>年間を通して水に関わる活動を実施し、年度末には1年間の成果をまとめるため、学習が身につく。</p> <p>各種活動後の児童の感想から、自然や生物についての意識の向上が見られた。</p>		<p>児童は積極的に活動しており、学習意欲も高く、事業の効果は大きい。</p> <p>他校にも事業展開を図るとともに、フィールドにあった内容を取り入れ、事業を充実していきたい。</p>	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	B
マリンスポーツ 体験学習	<p>町内小学生が一堂に会し、海洋性スポーツを通じて人間形成と体力向上を図るとともに、心の豊かさを育てることを目的とする。</p> <p>岩手県山田町B&G海洋センターの協力を得、体験や安全学習、養殖場の見学などを実施した。</p> <p>○実施日 7月31日～8月1日(1泊2日)</p> <p>○場所 岩手県山田町</p> <p>○対象 町内小学4年～6年生</p> <p>○参加者数 16名</p> <p>○事業費 自己負担金7,000円×16名=112,000円 補助金 3,000円×16名=48,000円 旅費:12,800円×2名+14,200円=39,800円 報償費:40,000円 賃借料:193,200円</p>	<p>実際に海で活動することにより、海の楽しさや危険な部分を肌で感じる事ができた。</p> <p>また、全て団体行動であるため、団体での個人の在り方や思いやりの重要性を感じる事ができた。</p> <p>夏休み期間は、学校行事や部活、小学生を対象としたイベント等が多く、適当な時期に開催することができず、参加者が定員30名に満たない状況である。</p>		<p>できる限り児童が参加しやすい日程を確保し、チラシやポスターで情報を提供して参加者の増加を目指す。</p>	
2-(4)		実績の評価	◎	総合評価	B

(B&G海洋センター関係 NO. 2)

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
B&G海洋体験セミナー	<p>共同生活を通じて、異世代間のコミュニケーションについて学ぶとともに、沖縄での海洋性レクリエーションや自然体験活動を通して海・船・海洋環境に係る理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋性レクリエーション体験 ・自然体験活動 ・史跡見学等 <p>○実施日 7月29日～8月2日(4泊5日) ○場所 沖縄県北部地区 ○対象 小学5年生～中学3年生 ○参加者数 3名 ○事業費 旅費 40,400円 補助金155,250円</p>	<p>参加者の感想文や保護者の話からも自然環境や海洋性レクリエーションなどに対する意識の高揚が感じられた。</p> <p>多世代との集団生活や活動を通して、礼節などの社会性を身に付けることができた。</p>		<p>定員3名の募集に対して17名の申し込みがあり、対象者からの関心は高い。</p> <p>海洋性レクリエーションはもちろんのこと、沖縄の自然環境や安全知識を学習できるため、今後も継続すべきと考える。</p>	
2-(2)・(4)		実績の評価	◎	総合評価	B
B&G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	<p>バレーボールを愛好し、大会を通して学校相互の親睦と技術の向上を図った。</p> <p>○実施日 4月28日～29日 ○場所 南部町立名川中学校 ○対象 三戸郡内中学校バレーボール部 ○参加者 男子3チーム 女子8チーム ○事業費 食料費 51,000円 消耗品費 30,697円</p>	<p>大会当日は、参加中学校の監督・コーチ及び町バレーボール協会により運営されているため、選手の技術のみならず、町バレーボール協会員の資質向上にもつながっている。</p>		<p>三戸郡中学校体育連盟との共催で春季青森県大会の予選会にもなっているため、三戸郡内の全中学校バレーボール部が参加し、交流を深めるとともに技術を磨いている。</p> <p>今後も生涯スポーツ及び競技スポーツを振興していきたい。</p>	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価	B
B&Gスポーツ大会青森県大会	<p>B&G財団地域海洋センター青森県連絡協議会の主催事業。</p> <p>B&G地域海洋センター及びB&G海洋クラブで練習を行っている青少年を主たる対象に海洋性レクリエーションを中心としたマリンスポーツ大会を開催し、海事思想の普及・海洋性レクリエーションの振興を図るとともに、体力の向上に寄与し、各センター・クラブ相互の連携と親睦を図った。</p> <p>水上・水泳・剣道の3競技のうち、水泳競技に参加。</p> <p>○実施日 8月5日 ○場所 五所川原市 ○参加者 町内小学6年生 6名 ○事業費 旅費 26,400円 補助金 45,000円</p>	<p>町内の小学6年生が参加し、他市町村の選手と交流を深めるとともに競技力向上につながった。</p>		<p>当該大会の参加者を増やし、競技力向上を図るとともに、水泳教室などで普及促進を図る。</p>	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価	B

(B&G海洋センター関係 NO. 3)

事務事業名	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)		
学校教育指導の重点との関連					
B&G体験クルーズ	<p>船での集団生活、寄港地での自然体験を通じて、礼節などの社会性や自然への恩恵を学び、豊かな人間形成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋性レクリエーション体験 ・海洋学習 ・自然環境学習 ・ホエールウォッチング <p>○実施日 3月26日～3月31日(5泊6日)</p> <p>○場所 小笠原諸島</p> <p>○対象 小学4年生～中学3年生</p> <p>○参加者数 5名</p> <p>○事業費 旅費 68,280円 補助金 300,000円</p>	<p>参加者の感想文や保護者の話からも自然環境や海洋性レクリエーションなどに対する意識の高揚が感じられた。</p> <p>客船での航海、多世代との集団生活、自然体験等を通して、礼節などの社会性、環境保全に関する知識を身に付けることができた。</p>	<p>定員5名の募集に対して11名の申し込みがあり、対象者からの関心は高い。</p> <p>海洋性レクリエーションはもちろんのこと、海や小笠原諸島の自然環境及び安全知識を学習できるため、今後も継続すべきと考える。</p>		
2-(2)(4)		実績の評価	◎	総合評価	B
B&Gクリーンフェスティバルinなんぶ	<p>海洋性レクリエーションの普及、水辺地域の環境保全の意識付けを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヌー体験 ・水中スポーツ ・海洋センター周辺及び如来堂川の清掃活動 <p>○実施日 9月20日</p> <p>○場所 海洋センター周辺及び如来堂川</p> <p>○対象 町民</p> <p>○参加者数 6名</p>	<p>郷土の自然環境の一部を知り、清掃活動を行うことで水辺の環境保全の意識付けが図られた。</p> <p>川でのカヌーや川流れ体験により、郷土の自然を普段とは違う角度から感じる事ができた。</p>	<p>環境と生物の調査や海洋性レクリエーションを通して、清掃活動の重要性を自己で感じられるようなプログラムを実施したい。</p>		
2-(2)(4)		実績の評価	◎	総合評価	B
B&Gみちのくアキアフェスタ研修会	<p>東北6県で組織する東北ブロック連絡協議会が主催する事業で、6県が輪番で事業内容を決定し実施した。</p> <p>プールのより効率的な運営を図るため「プール遊びプログラム」を参加者共同で開発し、海洋センターの活性化を目指す。</p> <p>○実施日 9月7日</p> <p>○場所 岩手県藤沢町B&G海洋センター</p> <p>○対象 海洋性レクリエーション指導員、小・中学生</p> <p>○参加者数 6名</p>	<p>小学校低学年から高学年まで積極的に水に親しんでいた。</p> <p>当町海洋センターと同等の施設で開催され、今後の当町事業の参考となった。</p>	<p>今後は、当町でも海洋センターの利用者増加及びスポーツ人口の底辺拡大のため町民のニーズに合った事業を展開していきたい。</p>		
2-(4)		実績の評価	○	総合評価	B

◎文化財保護行政の方針と重点

(史跡対策室・社会教育課関係 NO. 1)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
町内文化財パトロール事業	文化財保護法の趣旨に基づき、町内に所在する文化財の現状の把握と保護をするため、青森県文化財保護指導員と共にパトロールを実施した。 遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録。 青森県文化財保護指導員3名と共に、埋蔵文化財を中心に開発等による破壊や盗掘の有無を、パトロール実施した。	埋蔵文化財の現状を踏査、及び情報収集により、常に把握し文化財保護指導員と共に保護活動を実施している。 町内文化財パトロールを実施することにより、保護の重要性を町民に啓発でき、非常に有意義で不可欠である。		文化財保護行政には欠かせない事業であり、今後とも文化財保護指導員と共にパトロールを実施し、町民に文化財保護行政の重要性を啓発する。	
3-(1)	○パトロール件数 埋蔵文化財18件 文化財 4件	実績の評価	◎	総合評価	B
国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	史跡聖寿寺館跡の整備計画の作成を目的とした、発掘調査を行った。 ○調査期間 平成20年7月7日～10月31日 ○調査面積 約820㎡ ○調査の成果 遺構＝掘立柱建物跡 4基 遺物＝陶磁器・銭貨・金属製品 ○現地説明会 平成20年10月13日 約40名参加	城館西側の建物配置について把握でき、整備計画の指標となる。		今年度の調査成果を基に、次年度の調査区の設定に寄与できる。 調査、及び調査の成果を町民に対して更にPRして、史跡保護文化財保護行政の重要性の啓発を図る。	
3-(1)		実績の評価	◎	総合評価	A
国史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・発掘体験)	埋蔵文化財の大切さと重要性を、肌で実感して貰った。 向小学校6年生による、発掘体験(学校と地域ネット推進事業による) ○実施日 平成20年9月10日	対象が児童であるため、安全管理は十分考慮して実施した。 発掘を体験した児童は、郷土の歴史を肌で感じ、非常に興奮し、時間を忘れて調査を体験していた。		体験型学習としては最大級に評価できる事業であり、今後は、町内の全学校と協力して全児童が体験できるよう努力したい。	
3-(2)		実績の評価	◎	総合評価	B
奥州街道の整備	街道の保護を行った。 街道の草刈り等 向小学校6年生による、ウォーク(学校と地域ネット推進事業による)	街道を歩いて、町の歴史を楽しく勉強した。 自分の足で実際に歩きながらの学習は、児童にとって歴史が新鮮に写ったようである。 最大級に評価できた。		体験型学習としては発掘調査と同様、最大級の評価できる事業であり、今後は町内全ての学校と協力して全児童が体験できるように努力したい。	
3-(1)(2)		実績の評価	◎	総合評価	B

(史跡対策室・社会教育課関係 NO. 2)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
南部七唄(10回)七踊り(15回)全国大会	○目的 南部七唄七踊りの啓発・普及・後継者育成に努めた。 ○内容 七唄 小学生の部、中・高生の部 七踊り 子どもの部、大人の部 ○対象 各部門による ○回数 1回 ○事業費 町単独費 3,050,000円	この事業は、南部町・南部町教育委員会と町の観光協会・商工会・文化協会・郷土芸能保存会が実行委員会を組織して行っている。 年4回の実行委員会を開催し、協議のもとに大会を開催した。	七踊りについては、出場者も多く、後継者育成の一助となっているので継続していく。 七唄については、出場者が少なく、なんらかの手立てが必要となっている。	
3-(3)		実績の評価 ◎	総合評価	B
伝統芸能・技術の継承事業	古くから郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐための後継者育成に努める団体に、助成した。 ○対象事業団体 ・南部町郷土芸能保存会 465,000円 ・無形民俗文化財保存・活用事業260,000円 ・無形民俗文化財後継者育成事業140,000円 ・郷土芸能後継者育成事業 450,000円	町指定の無形民俗文化財の保存及び活用について有効に助成されてきた。 町内のえんぶり・神楽等は町指定となっていないものもあり、今後検討していかなければならない。	今後も伝統芸能や技術の継承が重要と考え、事業を継続していく。	
3-(3)		実績の評価 ◎	総合評価	B

◎学校給食重点目標

(給食センター関係 NO. 1)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
より安全・安心の おいしい給食を 目指します。	より安全・安心な食材の選定に努め 献立に工夫をこらし、こどもたちに喜 ばれる学校給食を提供した。 施設はドライ運用に努め、調理従事 者の衛生管理を徹底し、事故・食中毒 の防止を徹底した。	より安全・安心な食材の選定のため 産地の選定及び食材の選定が重要 であり、出来る限り国産品を使用する ことにより安心な給食の提供が出来 た。 施設の老朽化が著しい各給食施設 において出来る限りドライ運用に努め 調理従事者の衛生管理を徹底するこ とで、食中毒の無い安全・安心な給食 を供給できた。	より安全、安心な給食提供の ため、地場産品を季節毎に新鮮 で安全な食材を選定、地場産品 以外も産地・栄養価・有害物質 等の評価・管理といった調査研 究し、安全安心な食材を選定す る。 施設の老朽化が著しい各給食 施設において出来る限りのドライ 運用に努め調理従事者の衛 生管理を徹底することで食中毒 の無い安全・安心な給食を供給 できている。	
		実績の評価	◎	総合評価
4- (1)				
栄養バランスの とれた食事内容 の充実を図りま す。	偏った栄養摂取、朝食欠食など食生 活の乱れや肥満・痩身傾向など、子ど も達の健康を取り巻く問題が深刻化し ている現代社会において、子供達に食 に関する正しい知識と望ましい食習慣 を身につけさせた。	偏った栄養の摂取・朝食の欠食等の 食生活の乱れの解消や健全化のため 学校等に出向き、児童・生徒及び保護 者に対する栄養指導を行っている。 また、給食の時間には、当日の献立 の栄養効果など放送原稿を作成し、 各学校に配布し栄養指導などをして いる。	偏った栄養摂取が無くなるよう に、児童生徒に対して個別に栄養 指導。また、保護者に対しても 面談し助言等も行っている。 給食の時間を利用して、食に 関する指導、学校給食の役割な ど理解してもらっている。	
		実績の評価	◎	総合評価
4- (2)				
手作りの料理を 心がけます。	学校給食は、栄養のバランスを考え ながら献立を工夫し、美味しく・残さず 食べれるように努めた。 食材については、出来る限り手切り にし、レトルト食品に関しては、手を加 えるように努力した。	出前授業及び個別の栄養指導等に より、体づくりの必要な栄養、植物の 働きなどバランスのとれた食事の仕方 を指導することが出来た。 食材も出来る限り地場産品を使用、 調理時間の許す限り手切りとして、手 づくりの料理ができた。	児童生徒の正しい食事の在り 方と望ましい食習慣を身につけ るために給食を通して「生きた教 材」として活用するとともに、栄 養のバランスを考えながら手作 りの料理を工夫し、献立に活用 する。	
		実績の評価	◎	総合評価
4- (3)				
伝統食、郷土食 を取り入れ、季 節感を大切にし ます。	学校給食に食文化・郷土食・伝統食 を取り入れることにより、より身近に実 感をもって、地域の自然・食文化・産 業等についての理解を深めさせること ができた。	学校給食に、当地域の風土や伝統 に根ざした、古来から及び文化的な食 文化の継承や地域の産物を理解させ ることができた。 季節ごとに、郷土色のある給食を提 供し、郷土の食文化をつたえた。	社会が近代化し食文化が大き く変化し、伝統食、郷土食が失 われる傾向にあり、学校給食に 伝統食、郷土料理を提供するこ とにより、地域の歴史や文化を 後世に伝えることが必要である。 地域の旬の食材を献立に使用 し季節感を伝える。	
		実績の評価	◎	総合評価
4- (4)				

(給食センター関係 NO. 2)

事務事業名 <small>学校教育指導の重点との関連</small>	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		総合評価(事業の評価・今後の方向性)	
地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。	地産地消により、新鮮で安心な食材を供給するとともに、子供達に育った地域の季節感を伝えた。	地場産物を給食に用いることにより、地元の産業等に対する趣味、関心を高めるとともに、当地域の特産物を季節毎に使用することで、季節感、旬の食材を覚える。		地域で生産された物を使用することで、より新鮮な安全安心な給食を供給するとともに、地域産業の活性化、そして子供達に季節感を伝える。 地場産物の給食献立に使用率向上も考えなければならない。	
4-(5)		実績の評価	◎	総合評価	A

◎平成20年度教育委員会活動の状況

1)教育委員会委員名簿

職名	氏名	備考
教育委員長	宮本佳悦	(新) H18. 3. 16~H21. 3. 15 (再) H21. 3. 16~H25. 3. 15
教育委員長職務代行者	中村祐子	(新) H18. 3. 16~H19. 3. 15 (再) H19. 3. 16~H23. 3. 15
委員	赤平實	(新) H18. 3. 16~H22. 3. 15
委員	山田義雄	(新) H20. 4. 1~H24. 3. 31
教育長	角濱清輝	(新) H18. 3. 16~H22. 3. 15

2)教育委員会会議の状況

会議名	日時	場所	出席委員	会期	案件	
第32回南部町教育委員会会議定例会	H20.4.14 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第1号 準要保護児童生徒の認定について
					議事	議案第1号 準要保護児童生徒の認定について
					協議事項	1. 教育委員会の自己点検・評価について 2. 平成20年度一般会計教育費予算について 3. 平成20年度教育大会について
第33回南部町教育委員会会議定例会	H20.5.14 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第2号 南部町立学校給食センター建設について 報告第3号 区域外就学の承諾について 報告第4号 通学区域外の承諾について 報告第5号 南部町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
					議事	議案第2号 平成20年度準要保護児童生徒の認定について 議案第3号 南部町社会教育委員の委嘱について 議案第4号 南部町公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第5号 南部町文化財審議委員の委嘱について 議案第6号 南部町体育指導員の委嘱について
					協議事項	1. 南部コミュニティセンター建設について 2. 準要保護児童生徒の認定基準等について
					報告	報告第6号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について 報告第7号 南部町立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 報告第8号 平成20年度南部町教育予算(6月補正)について
					議事	議案第7号 南部町奨学基金の貸付について 議案第8号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について 議案第9号 南部町立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第10号 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規程の一部を改正する訓令の制定について
					協議事項	1. 教育委員会の事務の点検・評価について 2. 学校等訪問の実施について
第34回南部町教育委員会会議定例会	H20.6.18 am10:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第9号 区域外就学の承諾について 報告第10号 平成20年度南部町小・中学校の学校現状調査について 報告第11号 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱について 報告第12号 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要領について 報告第13号 工事請負契約(ふるさと運動公園(陸上競技場兼サッカー場))の締結について
					議事	議案第11号 三八視聴覚教育協議会規約の変更について
					報告	報告第14号 工事請負契約(南部町学校給食センター新築工事)の締結について 報告第15号 準要保護児童生徒の認定解除について
					議事	
					協議事項	
第35回南部町教育委員会会議定例会	H20.7.16 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第9号 区域外就学の承諾について 報告第10号 平成20年度南部町小・中学校の学校現状調査について 報告第11号 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱について 報告第12号 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要領について 報告第13号 工事請負契約(ふるさと運動公園(陸上競技場兼サッカー場))の締結について
					議事	議案第11号 三八視聴覚教育協議会規約の変更について
					協議事項	
第36回南部町教育委員会会議定例会	H20.8.19 pm3:30	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第14号 工事請負契約(南部町学校給食センター新築工事)の締結について 報告第15号 準要保護児童生徒の認定解除について
					議事	
					協議事項	

第37回南部町教育委員会会議定例会	H20.9.24 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	4名	1日	報告	報告第16号 平成20年度南部町教育予算(9月補正)について
						報告第17号 区域外就学の承諾について
						報告第18号 通学区域外就学の承諾について
						報告第19号 南部町スポーツ指導員の委嘱について
					議事	議案第12号 南部町文化賞・南部町スポーツ表彰審査会委員の委嘱について
					協議事項	
第38回南部町教育委員会会議定例会	##### pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第20号 区域外就学の承諾について
						報告第21号 教育財産の引継ぎについて
						議案第13号 教育財産の引継ぎについて
						議案第14号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について
					協議事項	1. 生徒指導について 2. 学校の安全管理の取り組み状況に関する調査について
第39回南部町教育委員会会議定例会	##### pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第22号 区域外就学の承諾について
						報告第23号 通学区域外就学の承諾について
						報告第24号 平成20年度準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第25号 二学期制の導入について
					議事	議案第15号 南部町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の制定について 議案第16号 平成21年度就学予定児童の通学区域外就学の承諾について
					協議事項	1. 教職員の服務規律について 2. 生徒指導について
第40回南部町教育委員会会議定例会	##### pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	議案第26号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第27号 平成20年度準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第28号 平成20年度南部町教育予算(12月補正)について
						報告第29号 町立学校給食センター建設進捗状況について
					議事	議案第17号 南部町文化賞・南部町スポーツ賞被表彰者の決定について
					協議事項	
第41回南部町教育委員会会議定例会	H21.1.21 am10:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	議案第30号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第31号 区域外就学の承諾について
						報告第18号 通学区域外就学の承諾について
					議事	議案第19号 南部町文化賞・南部町スポーツ賞被表彰者の決定(追加)について
					協議事項	協議第1号 南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書について
第42回南部町教育委員会会議定例会	H21.2.26 pm2:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	議案第32号 平成20年度準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第33号 区域外就学の承諾について
						議案第20号 区域外就学の承諾について
						議案第21号 通学区域外就学の承諾について
						議案第22号 南部町教育委員会の事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則の制定について
						議案第23号 南部町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
					議案第24号 南部町立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関する規則の一部を改正する規則の制定について	
					議案第25号 南部町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	

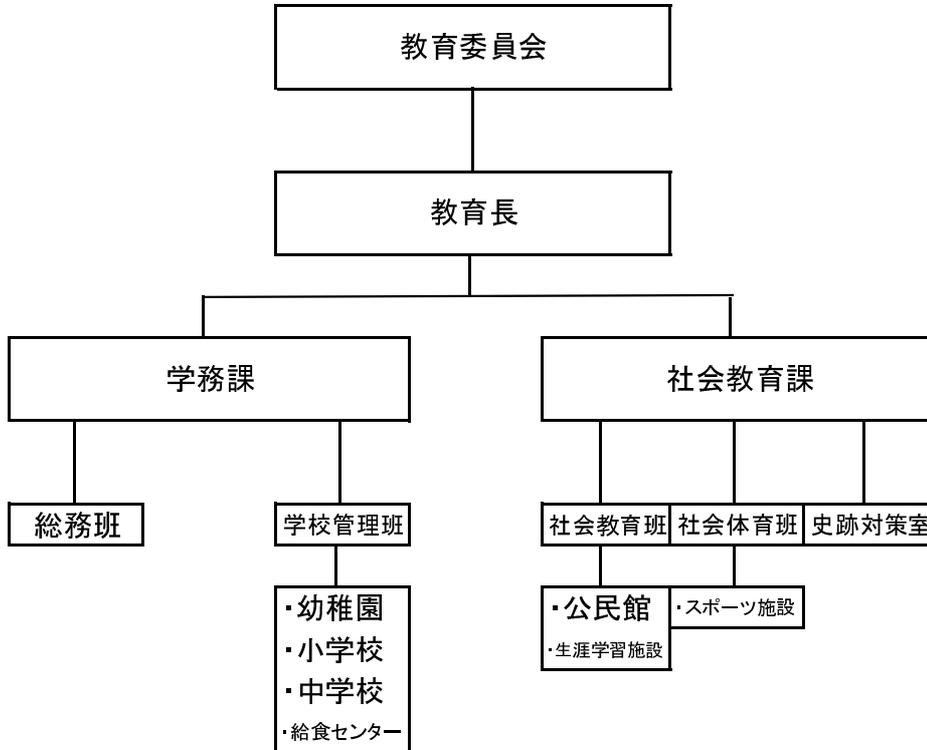
					議案第26号 南部町立学校副校長の任用に関する要項を廃止する訓令の制定について	
					議案第27号 南部町立小学校及び中学校の職員の仕事等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	
					議案第28号 南部町スクールバス管理運営規程の一部を改正する訓令の制定について	
				協議事項	協議第2号 平成21年度学校教育指導の方針と重点及び南部町教育大会について	
					協議第3号 南部町立幼稚園教育について	
第43回南部町教育委員会会議定例会	H21.3.18 pm3:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第34号 平成20年度準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第35号 区域外就学の承諾について
						報告第36号 通学区域外就学の承諾について
						報告第37号 平成20年度南部町教育予算(3月補正)について
						報告第38号 平成21年度南部町教育予算(当初)について
					議事	議案第29号 南部町教育委員会文書規程の全部を改正する訓令について
				協議事項	協議第4号 平成21年度南部町教育大会について	
第44回南部町教育委員会会議臨時会	H21.3.30 am9:00	南部分庁舎 3階第2会議室	5名	1日	報告	報告第39号 区域外就学の承諾について
					議事	
					協議事項	協議第5号 南部町教育方針について 協議第6号 平成21年度南部町教育大会について

3)その他の活動

月	日	活動・行事名	場所
4月	7日	小学校8校 中学校4校入学式	各小中学校
	8日	名川・南部幼稚園入園式	各幼稚園
	14日	第32回教育委員会議	南部分庁舎
	25日	南部町教育大会	町民ホール
	27日	うぐいすマラソン	多目的運動公園
	28日	三戸郡教育振興会監査委員会	八戸市 町村会館
5月	14日	第33回教育委員会議	南部分庁舎
	18日	福地・名川・南部中学校体育祭	各中学校
	23日	青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会	青森市 総合教育センター
	24日	杉沢小・中学校運動会	杉沢小学校
	25日	福地・福田・名久井・向小学校運動会	各小学校
6月	1日	名川南・南部小学校運動会	各小学校
	4日	三戸郡教育振興会理事会	八戸市 町村会館
	17日	南部町小学生陸上記録会	福地運動公園
	18日	第34回教育委員会議	南部分庁舎
	27日	名川さくらんぼ狩りセミナー	すば一く名川
7月	16日	学校訪問	向小学校・福地中学校
	16日	第35回教育委員会議	南部分庁舎
	28日	南部町中学生海外派遣結団式	町民ホール
8月	3日	第53回北奥羽少年剣道大会	町民体育館
	19日	教育振興会臨時総会	町村会館
		第36回教育委員会議	南部分庁舎
9月	12日	南部町中学生海外派遣報告会	剣吉公民館
	15日	南部七唄七踊り全国大会	町民ホール
	24日	学校訪問	杉沢・剣吉小学校
		第37回教育委員会議	南部分庁舎
	28日	南部町民運動会	南部中学校
10月	5日	剣吉小学校学習発表会	剣吉小学校
		南部幼稚園運動会	南部幼稚園
	11日	福地小学校学習発表会	福地小学校
		名川幼稚園運動会	名川幼稚園
	15日	第38回教育委員会議	南部分庁舎
	18日	南部小学校文化祭	南部小学校
	19日	福地・名川・南部中学校文化祭	各中学校
	22日	教育振興会理事会	八戸市 町村会館
	25日	福田小学校学習発表会	福田小学校
26日	南部小学校10周年記念式典	南部小学校	
	杉沢中学校文化祭	杉沢中学校	
11月	12日	市町村教育委員会委員長・教育長合同会議	青森市 国際ホテル
	19日	学校訪問	福地小学校・南部中学校
		第39回教育委員会議	南部分庁舎
	30日	南部幼稚園生活発表会	南部幼稚園
12月	7日	名川幼稚園おゆうぎ会	名川幼稚園
	19日	第40回教育委員会議	南部分庁舎
1月	21日	第41回教育委員会議	南部分庁舎
	25日	名久井小学校金管バンド全国大会出場コンサート	名川中学校アリーナ
2月	10日	三戸郡教育振興会理事会	八戸市 町村会館
	14日	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式	中央公民館
	25日	三戸郡教育振興会平成20年度定期総会	八戸市 町村会館
	26日	第42回教育委員会議	南部分庁舎
3月	5日	福地・杉沢中学校卒業式	各中学校
	14日	名川・南部中学校卒業式	各中学校
	18日	南部幼稚園卒園式	南部幼稚園
		第43回教育委員会議	南部分庁舎
	19日	福地・名久井・名川南・向小学校卒業式	各小学校
	21日	剣吉小学校卒業式	剣吉小学校
	22日	南部小学校卒業式	南部小学校
30日	第43回教育委員会議(臨時)	南部分庁舎	

◎教育委員会事務局の組織の状況

教育委員会組織図



◎教育委員会事務局の活動の状況

部署名	室・班名	業務の内容
学務課	総務班	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育委員会の会議に関する事 2. 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免 その他人事に関する事。 3. 公印の保管に関する事。 4. 文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関する事。 5. 教育予算の編成及び執行に関する事。 6. 県費負担職員の任免その他人事に関する事。 7. 学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関する事。 8. 教育財産の管理に関する事。 9. 教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事。 10. 基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関する事。 11. 県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関する事。 12. 他の班の所掌に属しない事務に関する事。
	学校管理班	<ol style="list-style-type: none"> 1. 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関する事。 2. 学校施設台帳の整備保管に関する事。 3. 教育内容及びその取扱いに関する事。 4. 教科用図書の採択並びに給与に関する事。 5. 学習効果の評価に関する事。 6. 校長及び教員その他教育関係職員の研修に関する事。

学務課	学校管理班	<ul style="list-style-type: none"> 7. 校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全、厚生及び福利に関すること。 8. 学校給食に関すること。 9. 児童及び生徒の就学に関すること。 10. 学校保健に関すること。 11. 学校図書館に関すること。 12. 義務教育費国庫負担事務に関すること。 13. 学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。 14. 幼稚園に関すること。 15. 児童及び生徒の交流に関すること。 16. 奨学金に関すること。 17. その他学校教育に関すること。
社会教育課	社会教育班	<ul style="list-style-type: none"> 1. 公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。 2. 社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。 3. 各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。 4. 社会教育関係団体の指導育成に関すること。 5. 社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。 6. 文化財の保護に関すること。 7. 郷土芸能の伝承に関すること。 8. 社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。 9. ユネスコ活動に関すること。 10. コミュニティーに関すること。 11. ボランティアに関すること。 12. 青少年教育に関すること。 13. 青少年健全育成に関すること。 14. 家庭教育に関すること。 15. 婦人教育に関すること。 16. 男女共同参画事業に関すること。 17. 生涯学習推進事業に関すること。 18. 文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。 19. その他社会教育に関すること。
	社会体育班	<ul style="list-style-type: none"> 1. 体育・スポーツの振興に関すること。 2. 体育指導員に関すること。 3. 体育関係団体の指導育成に関すること。 4. 体育施設の管理運営及び整備に関すること。 5. 運動公園の管理運営及び整備に関すること。 6. 町民運動会に関すること。 7. スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。 8. その他社会体育に関すること。
史跡対策室		<ul style="list-style-type: none"> 1. 南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。 2. 南部氏史跡整備検討委員会に関すること。 3. 国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。 4. 南部氏史跡の公有化に関すること。 5. 南部氏史跡発掘調査に関すること。 6. 南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。 7. 南部氏史跡整備及び活用に関すること。 8. 南部氏史跡の周知に関すること。 9. 南部氏の文献調査及び研究に関すること。 10. 南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

◎教育施設の状況

施設区分	名称	所在地	備考
幼稚園	名川幼稚園	南部町大字下名久井字宗前17-7	0178-76-2916
	南部幼稚園	南部町大字相内字上野平45	0179-34-3119
小学校	福地小学校	南部町大字苦米地字寺ノ後15-1	0178-84-2213
	福田小学校	南部町大字福田字源次郎平7-1	0178-84-3610
	杉沢小学校	南部町大字杉沢字杉沢6-4	0178-84-3582
	剣吉小学校	南部町大字剣吉字大館10-1	0178-75-0009
	名久井小学校	南部町大字平字広場8	0178-76-2010
	名川南小学校	南部町大字鳥谷字太田3	0178-76-3173
	向小学校	南部町大字大向字飛鳥20-2	0179-22-2275
	南部小学校	南部町大字沖田面字久保10-1	0179-34-3102
中学校	福地中学校	南部町大字福田字板橋1-2	0178-84-2211
	杉沢中学校	南部町大字杉沢字木戸口27-1	0178-84-3583
	名川中学校	南部町大字下名久井字白山81	0178-76-2110
	南部中学校	南部町大字沖田面字沖中101	0179-34-3137
給食センター	学校給食センター	南部町大字上名久井字長尾下23-2	0178-76-2746
必要があ 公民館 (生涯学習・余暇活動)	中央公民館	南部町大字平字広場36	0178-76-2323
	福地公民館	南部町大字苦米地字下宿22-1	0178-84-2111
	剣吉公民館	南部町大字剣吉字五合田29-1	0178-75-0797
	名川町民ホール (楽楽ホール)	南部町大字下名久井字白山81	0178-60-7180
スポーツ施設	南部町民体育館	南部町大字沖田面字沖中80	0179-34-2761
	福地体育センター	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	名川B&G海洋 センター	南部町大字平字広場28-1	0178-76-3310
	南部町運動公園 福地野球場	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	南部町運動公園 多目的広場	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	南部町運動公園 福地テニスコート	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	南部町運動公園 福地弓道場	南部町大字福田字松ノ木10-1	0178-84-4402

◎教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	18年度	19年度	20年度	
教育費	教育総務費	教育委員会費	1,355	1,284	1,541	
		事務局費	197,516	189,847	146,764	
		小計	198,871	191,131	148,305	
	小学校費	学校管理費	115,685	148,145	117,553	
		教育振興費	18,123	19,664	27,592	
		小計	133,808	167,809	145,145	
	中学校費	学校管理費	78,132	69,137	59,882	
		教育振興費	25,933	14,269	18,586	
		小計	104,065	83,406	78,468	
	幼稚園費	幼稚園管理費	66,230	64,394	64,705	
		教育振興費	5,713	5,422	5,088	
		小計	71,943	69,816	69,793	
	社会教育費	社会教育総務費	114,638	102,070	87,834	
		公民館費	23,918	26,025	25,215	
		社会教育施設費	14,943	13,436	13,801	
		文化財保護費	29,169	28,421	29,142	
		小計	182,668	169,952	155,992	
	保健体育費	保健体育総務費	67,672	61,805	70,720	
		保健体育施設費	86,881	101,555	108,255	
		保健体育施設整備費	142,881	120,210	171,784	
		小計	297,434	283,570	350,759	
	給食センター費	給食センター管理費	118,023	141,086	806,377	
		小計	118,023	141,086	806,377	
	計			1,106,812	1,106,770	1,754,839
	対前年比				1.00	1.59

◎南部町立小中学校児童生徒の状況

1. 児童生徒の学力(全国学力調査)

1) 小学校

※ 平成20年度の国語のA・B、算数のA・Bの通過率合計で比較しますと、青森県は新聞報道等によりますと、全国平均を上回り、全国第3位の成績であります。南部町の小学校は、県平均とほぼ同じ成績となっております。県教委は、小学校で全国平均を大きく上回ったことについて、「家庭での学習習慣が身に付いている」と分析しておりますが、今後一層の努力が必要であると考えております。

		全国	青森県	備考
通過率 (%)	H18			
	H19	290.4	303.2(4位)	
	H20	239.7	256.8(3位)	

2) 中学校

※ 平成20年度の国語のA・B、数学のA・Bの通過率合計で比較しますと、青森県は新聞報道等によりますと、全国平均を上回り、全国第12位の成績であります。南部町の中学校は、県平均を更に上回る成績となっております。県教委は、「知識」に関する部分は概ね理解しているとしながらも、「活用」に関する問題には課題があり、「知識」や「技能」を活用する力を身に付けさせる必要があります。今後一層の努力が必要であるとと考えております。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	備考
通過率 (%)	H18			
	H19	288.2	291.9(14位)	
	H20	246.7	252.2(12位)	

2. 児童生徒の生活の状況(全国学習調査)

家庭教育と社会教育が基礎学力向上のベースとなっております。
南部町の児童・生徒は調査の結果からも分かるように、よく頑張っておりますので、より一層の頑張りに期待します。

※表の数字は、調査の設問において、「している」と「どちらかと言えばしている」を「している」としての合計の数字です。

1) 小学校

1. 朝食を毎日食べていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
食べている (%)	H18	/			
	H19	95.2	95.8	97.8	
	H20	95.4	96.2	98.5	

2. 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
あてはまる。 (%)	H18	/			
	H19	72.3	72.5	69.4	
	H20	72.3	74.0	73.9	

3. 将来の夢や目標を持っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
持っている。 (%)	H18	/			
	H19	83.7	85.4	86.9	
	H20	84.7	86.6	88.4	

4. 家の手伝いをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18	/			
	H19	78.4	78.0	79.8	
	H20	77.5	75.7	78.7	

5. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18	/			
	H19	—	—	—	調査無し
	H20	52.0	50.6	56.6	

6. 家で学校の宿題をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	94.7	95.8	94.5	
	H20	95.2	95.9	98.1	

7. 家で学校の授業の予習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	32.9	37.6	33.3	
	H20	35.4	41.2	50.2	

8. 家で学校の授業の復習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	40.1	57.0	43.7	
	H20	43.4	60.6	73.9	

9. 学校のきまりを守っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
守っている。 (%)	H18				
	H19	86.2	88.3	91.8	
	H20	86.3	89.1	93.2	

10. 人が困っているときは、進んで助けていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
助けている。 (%)	H18				
	H19	76.3	75.9	74.9	
	H20	77.7	77.1	76.8	

11. 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	88.6	85.2	92.3	
	H20	88.7	86.0	92.8	

12. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H18				
	H19	94.7	95.6	97.3	
	H20	94.7	95.5	94.2	

13. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H18				
	H19	91.9	93.0	92.4	
	H20	92.4	93.9	95.2	

14. 国語の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H18				
	H19	59.6	60.3	54.7	
	H20	56.1	56.4	57.9	

15. 読書は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H18				
	H19	71.3	72.7	74.3	
	H20	72.3	74.2	78.2	

16. 算数の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H18				
	H19	65.0	67.8	69.9	
	H20	65.4	70.8	73.9	

2) 中学校

単位：%

1. 朝食を毎日食べていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
食べている (%)	H18				
	H19	91.6	93.1	95.5	
	H20	91.9	93.6	95.2	

2. 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
あてはまる。 (%)	H18				
	H19	62.0	62.9	63.2	
	H20	61.9	62.6	68.2	

3. 将来の夢や目標を持っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
持っている。 (%)	H18				
	H19	70.7	74.5	70.7	
	H20	70.7	73.5	72.7	

4. 家の手伝いをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	63.3	62.6	57.9	
	H20	60.6	58.0	59.0	

5. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	—	—	—	調査無し
	H20	34.2	32.1	35.3	

6. 家で学校の宿題をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	80.2	83.4	91.7	
	H20	81.4	84.9	93.0	

7. 家で学校の授業の予習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	29.5	23.7	9.8	
	H20	28.4	22.4	21.1	

8. 家で学校の授業の復習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	39.2	46.4	33.8	
	H20	39.6	48.0	55.9	

9. 学校の規則を守っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
守っている。 (%)	H18				
	H19	85.7	84.9	95.4	
	H20	87.4	86.9	93.8	

10. 人が困っているときは、進んで助けていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
助けている。 (%)	H18				
	H19	72.4	71.6	67.6	
	H20	72.7	72.4	78.0	

11. 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H18				
	H19	82.4	68.9	76.7	
	H20	82.7	69.2	83.3	

12. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H18				
	H19	87.9	88.7	88.7	
	H20	89.5	90.4	94.3	

13. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H18				
	H19	89.6	90.1	84.2	
	H20	90.5	91.2	94.2	

14. 国語の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H18				
	H19	56.8	57.1	55.6	
	H20	55.2	56.4	59.4	

15. 読書は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H18				
	H19	67.9	70.1	63.9	
	H20	69.0	72.6	66.5	

16. 数学の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H18				
	H19	51.0	49.2	35.3	
	H20	52.8	50.5	54.2	

3. 町立小中学校の「特色ある学校経営」事業の目的と実績

事業目的 教育委員会は、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するため、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし創造性を育む学校教育の活発な活動を推進することを目的として、特色ある学校経営事業を当該年度の予算の範囲内において実施する。

(小学校)

学校名	事業内容		
	活動名称	事業のねらい	活動実績
福地小	一人一人の子どもが夢と希望を持って、生き生きと活動する学校	1)夢や希望をもつ豊かな心を培うための読書活動の推進	・児童図書及び図書室の充実・読書励行 ・読み聞かせの充実
		2)未来を切り拓く子の基盤となる体力の増進	・鉄棒支援用具(外鉄棒下マット)の購入 ・校内研修体育「鉄棒」講師謝礼
		3)地域の特色を活かす教育の推進	・総合的な学習の時間における稲作関係の謝礼 ・教材園の充実を図るビニルハウス用具の購入 ・地域の特色である「ナマズ」の飼育用品の購入
		4)伝統を守る教育の推進	・茶道指導者の謝礼 ・伝統芸能「えんぶり」指導者の謝礼
福田小	意欲あふれる福田っ子の育成	確かな学力の定着と心身ともに健康な体つくりのために、「知・徳・体」の3つの観点から課題を明らかにし、その解決にむけて組織的・計画的に実践に取り組むことによって、意欲あふれる福田っ子の育成に努める。	・児童の実態をつかむ(Q-U学級満足度の活用) ・読書活動の推進(読み聞かせ用の図書購入) ・農業体験(土や肥料を一輪車で運ぶ) ・校庭等の自然環境整備(雑草や樹木の処理:一輪車・剪定ばさみ・鎌等) ・様々な運動に挑戦し、運動に対して興味を持つ ・いろいろな学習の場面を記録することにより、よりいっそう学習した内容を定着させる。(デジタルカメラの活用)
杉沢小	美しい心、たくましい心を育てる教育活動の推進	1)読書活動の推進	・朝読書と推薦図書の奨励 ・読み聞かせボランティアによる読書活動の充実
		2)家庭・地域と連携した体験活動の推進	・小学校・中学校・学区民が一体となった運動会の実施 ・ボランティア活動や三世代交流会の実施 ・学校農園での栽培活動の実施
		3)全校運動・外遊びの推進	・マラソン・なわとび・鉄棒・水泳の各がんばり週間の取り組み ・外遊びの励行
		4)情報機器の整備と活用	・コンピュータの積極的活用 ・関連機器の整備と活用

学校名	事業内容		
	活動名称	事業のねらい	活動実績
剣吉小	子どもの感性を育てる教育活動の推進	1)子どもの感性は、多くの自然、動物、昆虫、地域、人と直接関わることで磨かれたり広まったりする。そのためには、多様な体験の場を数多く設定する。 2)青少年赤十字モデル校発表にむけて、教科や領域そして総合的な学習などを総合的に捉え、好奇心旺盛な子どもの育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオと読み聞かせによる読書の喚起 ・読み聞かせボランティアによる読書活動の推進 ・職員に対する先行学習についての研修 ・複数教師によるチームティーチング指導 ・名久井農業高等学校との交流 ・陸上、サッカー、音楽部等への補助
名久井小	一人が生きて一人も生きる輝く子の育成	児童に豊かな心を培うための体験的活動への支援と環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動のための計画と実施 ・情報教育援助費 ・教職員の研修の充実 ・情操教育援助費 ・児童活動及び部活動等への援助 ・環境整備費
名川南小	地域の特性を生かした体験活動の推進	地域の自然を取り入れた体験活動を教育課程の中に適切に位置付け、地域の人材を積極的に活用して、子どもの豊かな人間性や社会性を育むとともに地域の人々が訪れる、地域に開かれた学校づくりをすすめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・米作り ・餅つき、そば打ち会 ・校庭の草刈り作業 ・俵積み歌、駒踊りの用具の整備
向小	一人一人を生かす学校づくり	1)自分の思いや願いをしっかりと持ち、その実現をめざして、ねばり強く取り組む子どもを育てる。 2)地域に学び、地域に親しみ、地域を愛する子どもを育てる。 3)相手の立場を思いやり、人のために奉仕できる子どもを育てる。 4)めあてをもって進んで運動し、健康な体づくりにはげむ子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宝物みがき ・奉仕的活動(JRC活動、クリーン作戦、縦割り班清掃) ・地域の伝統芸能の継承活動(ナニヤドヤラの踊り) ・総合的な学習 ・学校花壇の美化活動 ・学校内の環境美化 ・校内研修の運営 ・児童作品づくり
南部小	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくり活動	子ども達が豊かな体験活動を行うことによって、学びの楽しさ、学校や地域に生きることの喜びを味わうと共に、新たな体験や学習への意欲を持って活動できる子どもを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・南部小学校創立10周年記念行事に向けての諸活動(式典・祝賀会の実施、10周年記念行事のための環境の充実) ・自然体験、福祉体験、勤労生産体験等の活動(収穫感謝祭の実施、全校児童による自然体験活動の充実、総合的な学習の時間の充実) ・豊かな心を育てるための活動(お話しの読み聞かせ)

(中学校)

学校名	事業内容		
	活動名称	事業のねらい	活動実績
福地中	福地中学校教育活動推進事業	これまでお金をかけて整備することができなかった学習用具、環境の整備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品収納用ホルダーの購入費 ・行食用備品の整備費 ・池のポンプの購入費 ・体育館放送設備の修理費
杉沢中	杉中生はぐくみプラン	<p>1)地域や関係機関との連携のもとに、夢はぐくむ教育を推進し、よりよく教育目標を達成するように努める。</p> <p>2)地域の文化・伝統に対する理解を広げ、思いを深めて、郷土愛をはぐくみ将来世の中に貢献できるたくましい杉中生の育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を育む活動(ドリームランプ、職業体験学習、高校説明会、進路コーナーの設置) ・命を育む活動(グリーンボランティア活動、一人一鉢運動、食の授業、「命を考えるコーナー」「命を育むコーナー」の設置) ・奉仕の心を育む活動(ボランティア活動、地域清掃、赤い羽・緑の羽募金運動) ・友情と共生の心を育む活動(百人一首大会、球技大会、県立聾学校との交流) ・連帯感を育む活動(小中学区民合同大運動会、さくらのイルミネーションライトアップ、外部コーチによる部活動、地域あいさつ運動) ・自主・自立の心を育む活動(ノーチャイム)
名川中	南部町立名川中学校「平成20年度特色のある学校経営」	<p>豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育する教育の推進。</p> <p>1)地域の人々との触れ合いを通して、さまざまな「生き方」に共感し、自分の生き方を探らせる。</p> <p>2)郷土に希望と誇りを持ち地域の伝統を受け継ぎ郷土を愛する心を育成する。</p> <p>3)高齢化・福祉社会を見据え、ボランティア活動を推進する。</p> <p>4)教科センター方式を生かした学習活動の推進(メディアスペースの活用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土理解学習(名川秋祭りへの参加、伝統芸能の伝承、郷土にゆかりのある方を招いての講演会、郷土料理の体験) ・キャリア教育の一環としての体験活動(伝統芸能体験学習、職場体験学習、福祉体験学習、あかちゃん触れ合い体験) ・ボランティア活動(剣吉駅の清掃、ユニセフ活動、福祉施設の訪問、名川町ボランティアスタッフ活動) ・メディアスペースを活用した主体的な学習活動の推進
南部中	南中愛 ～家族の中にも礼儀あり～	「生徒に生きる力を育むこと」を目指しながら、「自ら学び自ら考える力の育成」や「基礎的・基本的な内容の確実な定着」を図り、「個性を生かす教育の充実」に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援関係(選択教科講師派遣、総合学習) ・JRC活動関係(校内外清掃、幼稚園・保育園訪問、老人ホーム訪問) ・中体連関係 ・文化祭関係(合唱コンクール、郷土芸能演奏) ・立志式関係 ・卒業式関係 ・その他